

1

事業概要

阪神・淡路大震災から25年が経過し、震災を経験していない方が増えているなど震災の一層の風化が懸念されている。さらに、国内外では大規模自然災害が頻発していることから、これまでも増して、震災の経験と教訓を地域や世代を越えて継承する必要がある。

これらのことから、震災25年の節目となる令和2年1月17日に、「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』」をテーマに、「ひょうご安全の日のつどい」を実施した。

1

ひょうご安全の日のつどい

実施主体：ひょうご安全の日推進県民会議

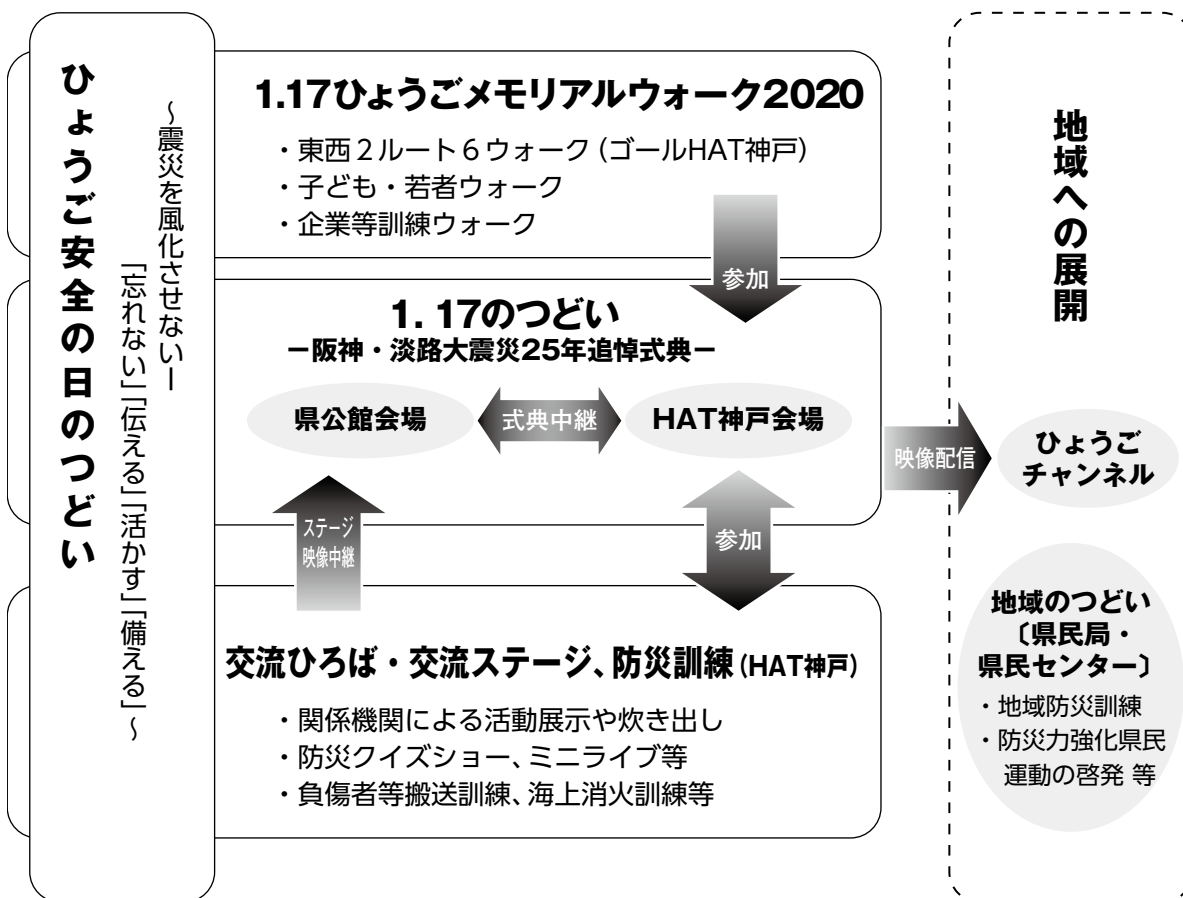
開催日：令和2年1月17日(金)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| ・ 1.17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典ー | [11:45～ 13:30] |
| ・ 1.17ひょうごメモリアルウォーク2020 | [8:00～ 11:45] |
| ・ 交流ひろば・交流ステージ | [10:30～ 15:00] |
| ・ 防災訓練 | [13:00～ 15:00] |

2

地域のつどい

地域の特性を踏まえ防災訓練や講演会などを各県民局・県民センター単位で実施



2 1.17のつどい ―阪神・淡路大震災25年追悼式典―

阪神・淡路大震災で犠牲となられた方々への哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意について、国内外や次世代に強く発信する「1.17のつどい―阪神・淡路大震災25年追悼式典―」を開催した。当日は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、衆議院議長、参議院副議長、最高裁判所長官、防災担当大臣、国土交通大臣をはじめ多くのご来賓の方々に参列いただいた。

式典は、遺族を招待し、厳かに犠牲者の御霊を追悼するとともに、震災の年に生まれた若者による追悼の灯りの献灯や、子どもたちによる県民のこぼなど、震災を風化させず、未来へ伝えていく内容を盛り込んだ。

また、多くの方々に参列いただけるよう、兵庫県公館と神戸東部新都心（H A T 神戸）の2会場で開催し、両会場を映像でつなぐなど一体的な式典とした。

日 時 令和2年1月17日(金) 11:45~13:30
場 所 兵庫県公館、H A T 神戸(人と防災未来センター慰霊のモニュメント前)
参加人数 4,400人(兵庫県公館会場400人、H A T 神戸会場4,000人)

〔式次第〕 敬称略

- ①追 悼 の 灯 り 献灯 平成7年生まれの若者 兵庫県公館会場 中村 翼
H A T 神戸会場 大橋 奈央
- ②献 奏 曲 曲目 G線上のアリア
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ③開 式 の 辞 県民会議会長 兵庫県知事 井戸 敏三
- ④国 歌 斉 唱 秋篠宮皇嗣殿下
- ⑤黙 禱 県民会議副会長 兵庫県議会議長 長岡 壯壽
- ⑥式 辞 内閣府防災担当大臣 武田 良太
- ⑦お こ と ば 国土交通大臣 赤羽 一嘉
- ⑧ご 来 賓 の こ と ば 遺族代表 松本 幸子
- ⑨ご 遺 族 代 表 の こ と ば 曲目 しあわせ運べるように
- ⑩献 唱 曲 合唱 兵庫県公館会場 神戸市立桂木小学校
H A T 神戸会場 神戸市立なぎさ小学校
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ⑪県 民 の こ と ば 南あわじ市立福良小学校 北岡 愛菜
(子ども達からのメッセージ) 芦屋市立精道中学校 桑山 響
兵庫県立舞子高等学校 坂口 陽菜
- ⑫1.17ひょうご安全の日宣言 県民会議企画委員長 河田 恵昭
- ⑬献 唱 曲 曲目 アヴェ・ヴェルム・コルプス
合唱 神戸市混声合唱団
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ⑭御 供 花 秋篠宮皇嗣同妃両殿下
(献 花)
閉 式

※式典の様子は「ひょうごチャンネル(インターネット放送局)」を通じてリアルタイム配信するとともに、地域の防災イベント等の場で放映した。

1 追悼の灯り

式典では、震災の経験と教訓を世代を越えて「未来につなぐ」観点から、県民を代表して平成7年生まれの子が、太陽光から採火した灯りを兵庫県公館、H A T 神戸の2会場でそれぞれ祭壇に献灯し、両会場を灯りでつないだ。



兵庫県公館会場 中村 翼さん



H A T 神戸会場 大橋 奈央さん

◆採火セレモニー

追悼式典で献灯された灯りは、平成27年(震災20年)生まれの子どもたちが、未来へ向けたメッセージとともに、太陽光から採火した。この模様は、追悼式典会場の大型画面で映像により紹介された。

日 時 : 令和2年1月9日(木) 12:30~13:30
場 所 : 人と防災未来センター 慰霊のモニュメント前
参加者 : 社会福祉法人みのり福祉会
幼保連携型みのり認定こども園 園児



追悼の灯りの採火



未来へのメッセージ

2 献奏曲

- ・演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ・指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督

御霊の安らかならんことを祈念し、佐渡裕兵庫県立芸術文化センター芸術監督の指揮のもと兵庫芸術文化センター管弦楽団が、献奏曲「G線上のアリア」を捧げた。



兵庫芸術文化センター管弦楽団

◆祭壇

兵庫県公館会場では、震災の犠牲となられた方々への哀悼の誠を捧げるため、祭壇に犠牲者名簿を奉呈し追悼の灯りを灯した。

祭壇デザインは、ひょうご安全の日のつどいのテーマである「震災を風化させない」のイメージを表現した。



【祭壇のテーマ】

震災を契機に世界から頂いた「思いやり」や「やさしさ」を、25年の年月を5つの「輪(和)」で表現。また5つの和は「五国」でなりたつひょうごも表現している。中央の円は、未来へむけて「災害へ向けた人類の叡智」を集結した「安全・安心な共生社会」を表している。

3 開式の辞

本日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、多くのご参列の皆さまとともに、「1.17のつどい - 阪神・淡路大震災25年追悼式典 -」を開催できますことを、ひょうご安全の日推進県民会議を代表して、心より感謝申し上げます。

阪神・淡路大震災から25年を迎えました。震災の風化が懸念されるなか、震災から学んだ教訓を忘れることなく、内外に広く発信し、後世に伝えることこそ震災を経験した私たちの責務です。また、今後の災害に備えて官民一体となった防災・減災対策を講じていかなければなりません。

ここに、震災で犠牲となられた方の尊い御霊に対し、心から哀悼の誠を捧げますとともに、安全で安心な社会の実現に向け、さらなる努力を続けてまいりますことをお誓い申し上げ、ただ今から「追悼式典」を開会いたします。

令和2年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議副会長
兵庫県議会議長 長岡 壮壽



開式の辞（長岡兵庫県議会議長）

4 国家斉唱

- ・演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- ・指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督



国歌斉唱（兵庫県公館会場）

5 黙祷

阪神・淡路大震災で犠牲となられた方々の御霊の安らかならんことを願い、正午にH A T 神戸会場のカリヨンの鐘にあわせて黙祷を捧げた。

H A T 神戸会場のカリヨンの鐘は、神戸市立なぎさ小学校の児童が鳴鐘した。



兵庫県公館会場



H A T 神戸会場



H A T 神戸会場 カリヨンの鐘の鳴鐘

6 式辞

阪神・淡路大震災から25年の歳月が過ぎました。

互いに支え合いながら、創造的復興をめざして歩み続けたこの25年は、長いようにも瞬く間のようにも感じられます。

本日、ここに秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、ご遺族並びに政府代表・防災担当大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院副議長、最高裁判所長官をはじめ、多くのご来賓の皆様にご出席をいただき、「阪神・淡路大震災25年追悼式典」を執り行うことができますこと、心から感謝いたします。

尊い犠牲となられた方々に心から哀悼の誠を捧げつつ、悲しみを胸に幾多の苦難を乗り越え、まちの復興や生活の再建に真摯に取り組んでこられた皆様に改めて敬意を表します。また、復旧復興にご支援いただいた内外の皆様には心からお礼を申し上げます。

あの震災は、兵庫に未曾有の被害をもたらすとともに、成長から成熟へと向かう時代の転換点にあって過度な人口集中、高齢社会の到来など近代都市の抱える問題点を浮き彫りにしました。私たちは、そこから単なる復旧復興ではなく、21世紀の成熟社会を見据えた創造的復興をめざして、内外からの温かい支援を力に変え、県民一丸となって懸命の努力を重ねてきました。

その過程では、高齢者の見守り体制やこころのケア、ボランティア活動への支援といった先導的な取り組みや、阪神・淡路大震災復興基金、被災者生活再建支援制度、住宅再建共済制度など、被災地の実情に即した新たな仕組みが生まれました。

こうした経験と教訓は、内外の被災地復興に生かされています。

2005年の国連防災世界会議では、兵庫の経験と教訓を踏まえて国際的な防災指針「兵庫行動枠組」が策定され、また、2015年に策定された「仙台防災枠組」では、兵庫が実践してきた創造的復興が“Build Back Better”として盛り込まれました。

東日本大震災で効果を発揮した関西広域連合によるカウンターパート方式の支援は、その後の熊本地震や豪雨災害での広域支援で更なる広がりを見せています。

また、兵庫県では、新たに大規模災害時のボランティア活動を支援する制度を創設し、県民ぐるみの被災地支援に取り組んでいます。

阪神・淡路大震災以降、東日本大震災、熊本地震、大阪府北部地震などの地震災害だけでなく、台風などによる豪雨が頻発し、被害が激甚化するなど、わが国は「大災害時代」に突入しています。今後、国難ともなりうる南海トラフ巨大地震の発生も危惧されており、備えを強めなければなりません。

それには、過去から学び、未来につなぐことが大切です。しかし、兵庫においても震災を経験していない県民が増え、震災の風化が懸念されます。

このため、震災25年の節目を控え、昨年4月から「震災を風化させない」－「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」を基本コンセプトに、県民総参加で、とりわけ震災後に生まれた若者世代の参画を得ながら、震災の経験と教訓を発信し、災害への備えや対策の充実につなげる取り組みを展開しています。

また、次なる災害に備え、建物の耐震化などの地震対策、防潮堤の強化などの津波・高潮対策、治山・砂防の推進とともに、高齢者や障害者など災害時要援護者の避難対策、地域での実践的な防災訓練など、自助、共助、公助を組み合わせた防災・減災対策を進めています。

今後の大規模広域災害に対し、より強固な体制で備えることも大切です。関西広域連合による防災体制の強化はもとより、事前の備えから復旧復興まで一連の災害対策を担う防災機関の創設に向けた提案を進めます。

震災から25年を迎え、兵庫もようやく復旧復興から新たな兵庫づくりに目を向ける時代となりました。令和の時代の到来とともに今、私たちは新たなステージを迎えています。

県民、団体、企業、行政が一体となって安全安心な社会を築き、その基盤の上で、人口減少対策、少子高齢化対策、新産業の振興、人材育成など、当面する県政課題に正面から挑み、震災を乗り越えてきた力を再び結集して、人と地域の未来に夢や希望が広がる、豊かで生活の質の高い「すこやか兵庫」の実現に全力で取り組んでいくことをお誓いし、式辞といたします。

令和2年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議会長
兵庫県知事 井戸 敏三



式辞（井戸兵庫県知事）

7 おことば

阪神・淡路大震災から、本日で25年が経ちました。ここに、震災によって亡くなった人々の御霊に深く哀悼の誠を捧げます。

25年前のこの日、住み慣れたまちが一瞬にして崩壊し、かけがえのない6,400名以上の命が奪われました。私は震災の後、幾度となくこの地を訪れましたが、その度に、被災者をはじめ兵庫県の皆様が、困難な状況に直面しながらも、心を一つにして励まし助け合いながら、全国から集まった大勢のボランティアとともに、懸命の努力で美しい街並みを蘇らせていることに、深い感銘を覚えました。

これまで、県民、団体、行政が一体となって、幾多の苦難を乗り越え、ハード・ソフト両面から災害に強い地域づくりに尽くしてこられました。

また、県内に集積した国際的な防災・人道支援機関を活かし、国際会議などを通じて震災の教訓を世界に発信するなど、世界各国・地域における防災体制の強化にも貢献しています。

阪神・淡路大震災の後も、東日本大震災をはじめとして、大きな自然災害が各地で発生しております。その度に、多くのボランティアや応援職員など、兵庫県の皆様が現地に駆けつけ、被災者に寄り添いながら、自らの震災の経験と教訓を活かした支援が行われていることは、誠に意義深いことと考えます。

震災から25年が経過し、この地においても震災を経験していない世代が増えていることから、「震災を風化させない」取り組みを進めていると伺っております。その中でも、特に震災を経験していない世代の人々が、積極的に震災や防災・減災について学び、周囲や社会に働きかけながら防災・減災活動に取り組んでいることを大変心強く思います。

これからも、震災の経験と教訓を踏まえ、人々が助け合い、安全で安心して暮らせる地域づくりが進められるとともに、その知見が国の内外に広まり、また、世代を越えて継承されていくことを願っております。

おわりに、亡くなった人々の御霊安らかならんことを心からお祈りし、追悼の言葉といたします。



おことば（秋篠宮皇嗣殿下）

8 ご来賓のことば

(防災担当大臣)

本日ここに、「1・17のつどい 阪神・淡路大震災25年追悼式典」が執り行われるに当たり、政府を代表いたしまして、謹んで追悼の言葉を捧げます。

阪神・淡路大震災から、25年の歳月が経過いたしました。25年前のこの日、6400名を超える尊い命が失われました。震災の犠牲となられました方々の無念さと、最愛の御家族を失った御遺族の深い悲しみに思いをいたしますと、誠に痛恨の極みであります。ここに改めて、震災により亡くなられた方々とその御遺族に対しまして、心から哀悼の意を表します。

この震災では、50万戸以上の住家が被害を受け、発災当初、約32万人もの人々が避難を余儀なくされ、不自由な生活を強いられました。しかしながら、被災された方々や自治体に加え、全国から駆け付けた多くのボランティア等が一体となって、全力で復旧・復興に取り組んでこられた結果、目ざましい復興が図られました。多くの方々の御尽力に対し、心より敬意を表します。

また、25年の節目を迎えた今年度、兵庫県では、「震災を風化させない」を基本コンセプトに、大震災の経験と教訓を県内外に広く発信し、次の大災害への備えや対策の充実につながる多彩な事業を展開していると伺っております。このような取組が、単なる復旧にとどまらない、創造的復興のモデルとなり、より一層、安全で魅力的な地域づくりにつながることを確信しております。

近年、地震、台風、豪雨や火山噴火など災害が多発しております。特に昨年は、令和元年台風第15号、台風第19号等、多くの災害により、各地に甚大な被害がもたらされました。

政府としても、有識者や被災自治体の御意見等も伺いながら、これらの一連の災害に関する検証を現在進めているところであり、その結果を踏まえ、防災対策の充実に努めてまいります。

災害が発生しやすい我が国においては、防災は国家の極めて重要な任務であります。政府といたしましては、様々な災害から国民の生命、身体、財産、そして生活を守り、安心して暮らせる社会の実現に向けて、引き続き全力を挙げてまいります。

最後に、犠牲となられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、御遺族の皆様方に心よりお悔やみを申し上げて、追悼の言葉といたします。

令和2年1月17日

内閣府防災担当大臣 武田 良太



ご来賓のことば（武田防災担当大臣）

(国土交通大臣)

秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、阪神・淡路大震災25年追悼式典にあたり、犠牲となられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、謹んで追悼の辞を申し述べます。

1995年1月17日午前5時46分、夜明け前の静寂を突然襲った恐怖の揺れ、耳をつんざくような家財道具が壊れる音、倒れるはずのない阪神高速道路の倒壊、潰れてしまった住家から助けを求める人々の悲痛な叫び、なすすべなく一晩中燃え続け、がれきの山となってしまった美しい街並み。

未曾有の被害と多くの尊い犠牲をもたらした阪神・淡路大震災は、人々に終生忘れがたい記憶と忘れてはならない教訓を残しました。

広範囲にわたって倒壊した家屋やビルや商店街、液状化現象や地盤沈下によって破壊された道路、鉄道、港湾。これまで都市を支えてきたライフラインやインフラの甚大な被害を前に、わが国の安全・安心なまちづくりに向けた本格的な取組が始まりました。

建物の耐震化や都市の再開発が進み、被災者生活再建支援法の成立など災害法制が整備され、応急仮設住宅の充実や避難所の環境改善、プッシュ型の復旧復興支援、そして、本格的なボランティア活動が定着、学校区ごとの防災・福祉コミュニティの発足、防災士18万人の誕生など、被災者に寄り添い、一人の人の尊厳を大切にするわが国の防災・減災対策は、着実に前進して参りました。

震災から25年、気候変動の影響により、100年に一度の激甚災害が、いつ、どこで発生しても不思議でなくなったわが国において、阪神・淡路大震災の教訓を風化させることなく、次の世代に伝え、国民の皆様の生命と暮らしを守るため、防災・減災が主流となる安全・安心な国づくりに総力をあげて取り組んでいくことをお約束申し上げます。

結びに、御霊の永遠に安らかならんことをお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様、被災された全ての方々の御平安を心から祈念し、追悼の言葉といたします。

令和2年1月17日

国土交通大臣 赤羽 一嘉



ご来賓のことば（赤羽国土交通大臣）

9 ご遺族代表のことは

本日ここに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと「1.17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典」が厳粛に執り行われ、ご来賓の皆様方から、丁重な追悼のお言葉を賜りましたことに、遺族を代表して心からお礼申し上げます。

あの日は、寒い朝でした。2階建の家は、1階が潰れて、その1階で眠っていた妹を、従妹と、ご近所の方々が力を合わせて助け出してくれました。そして、近所の方の車で消防署に運ばれたのです。しかし、心肺停止でした。

地震の前日、コーヒーを飲みながら、妹は、香港の友人の話を楽しそうに話していました。「年末には、イギリスか、フランスに行ってみたいね。」と話していた矢先のことでした。

毛布にくるまれて運ばれたところは、高校の体育館でした。全面に敷かれた青いビニールシートは、次から次へと運ばれてくるご遺体で、埋め尽くされていきました。お父さんに付き添われた、小学生らしき男の子。年配のご夫婦。苦しそうな顔の男の人。声をかければ、名前を呼べば、目を覚ましそうでした。

ライフラインが全て止まる中で、一番困ったことは、飲み水の確保でした。給水車の長い列に並び、持ち帰った水は、飲み水やカップラーメンに使い、最後のスープまで飲み干しました。

顔を洗い、口をすすいだ水は、風呂桶に貯めました。黒く変色した水は、最後にトイレ用に使いました。水は、命です。最後の一滴まで、無駄にはできませんでした。

あの日から、25年。大きな災害は繰り返してやってきます。果たして、私たちは、災害の苦しみのどん底にいる人を、助け上げる社会を上げてこれたでしょうか。潰れた家のなかで、燃える炎の中で、救助を待ちながら亡くなられた皆様のことは、決して忘れません。

2011年の東日本大震災の後、私は福島県の仮設住宅の炊き出しボランティアに加わりました。そこで、浪江町の漁師さんから、住む家、生業、漁師仲間を失った話を聴きました。その事がきっかけで、人と防災未来センターの語り部に手を上げ、震災の経験を伝える活動を行っています。

将来起こるといわれている南海トラフの巨大地震。今までに払ってきた沢山の犠牲から学び、備えるならば、命を守ることは、必ずできると思います。

最後に、亡くなられた6,434名の皆様のご冥福を、心よりお祈り致します。

令和2年1月17日

遺族代表 松本 幸子



ご遺族代表のことは（松本幸子さん）

10 献唱曲

合唱 兵庫県公館会場 神戸市立桂木小学校合唱団

H A T神戸会場 神戸市立なぎさ小学校児童

演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団

指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督

兵庫県公館会場では神戸市立桂木小学校、H A T神戸会場では神戸市立なぎさ小学校が、被災地の復興に向けた希望のハーモニー「しあわせ運べるように」を献唱した。



神戸市立桂木小学校



神戸市立なぎさ小学校

11 県民のことば(子ども達からのメッセージ)

阪神・淡路大震災では、わたしの住んでいる淡路島でもたくさん被害がありました。ある新聞記事には、「住民づきあいの良い淡路島では、すぐに全住民の安否が確認され、火事もほとんど起きなかった」と書かれていました。いつか起こる南海トラフ大地震に備え、日頃から家族・地域・友だちとのつながりを大切にしたいと思います。

昨年8月、防災ジュニアリーダーとして東北ボランティア活動に参加し、東日本大震災について学びました。大川小学校の姿を見たときにはあまりの被害の大きさに言葉が出ませんでしたが、『未来を拓く』という言葉もそこで知りました。自分たちの力で未来を創っていくために、今、生きていることに感謝し、これからも精一杯、生き抜いていきます。

南あわじ市立福良小学校6年
北岡 愛菜

私の中学校では、震災によって5名の尊い命が奪われました。その後の卒業式は、体育館が避難所となっていたため、グラウンドに建てられた仮設テントで行われたと聞きました。

あれから25年、私たちは毎年1月17日に追悼集会を行ったり、『慰霊と復興のモニュメント』を訪れたりして、震災について学んできました。また、当時全国の中学校から励ましの手紙や文房具などが届けられていたことを知り、改めて多くの人から支えられ、励まされてきたことを感じました。

これからは、私たちが行動を起こしていかなければなりません。「かけがえのない命」を守るため、私たちは互いを思いやる気持ちを大切に、自分たちが率先してできることを考え、実行していきたいと思います。

芦屋市立精道中学校3年
桑山 響

「災害を経験していない私に何ができるだろう。」舞子高校環境防災科に入学してからずっと考えてきました。はじめは「語り継ぐ」ということに抵抗がありました。災害の知識が未熟で、思いをうまく伝える自信がなかったからです。

しかし防災を学ぶことで、「伝える人がいなくなり、災害が風化する方が怖い」と考えるようになりました。大切な家族、友達、神戸のまち。守りたいものがあるからこそ、震災の経験と教訓を語り継ぎたいと思います。

特に大切だと思うのは自助と共助です。災害への意識を高め、いざという時に自分の意志で避難すること。災害時に活かせる繋がりを日頃から作っておくこと。これらが当たり前となる防災の輪を広めるため、このまちに生まれて次世代を担うものとして取り組んでいきます。

兵庫県立舞子高等学校3年
坂口 陽菜



県民のことば（北岡愛菜さん）



県民のことば（桑山響さん）



県民のことば（坂口陽菜さん）

12 1.17ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から25年が経った
私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも
この震災の教訓を知ってもらいたい 活かしてもらいたい
そのように願って 伝え続けてきた

ボランティア こころのケア 生活再建支援制度
創造的復興を目指す中で
社会を支える新たな「しくみ」も生まれた

今なお災害がやむことはない
昨年6月に山形県沖を震源とする地震が発生し
8月に九州北部豪雨が起こった
9月の台風15号は 風台風となって 長期停電をもたらし
10月の台風19号は 雨台風となって その後の豪雨との連続災害により
広域にわたる氾濫被害と浸水被害を繰り返した
ボランティアは不足し きめ細かな生活再建支援が求められている

令和の時代が希望の時代になることを願い
新しい時代を 災害で特徴づけてはいけない
災害を他人事と考えず
正視して対処することが大切だ

震災から四半世紀
若者世代に その記憶はない
いまこそ 震災を風化させない取組が必要だ
震災から生まれた「しくみ」を育て
次世代につなぎ 「災害文化」として定着させなければならない
日常防災を豊かにして 安全安心社会に向かうのだ

忘れない 伝える 活かす 備える 阪神・淡路大震災の教訓を
震災の教訓は すべての時代に通じる知恵だから

2020年1月17日
ひょうご安全の日推進県民会議



河田県民会議企画委員長

13 献唱曲

合唱 神戸市混声合唱団
演奏 兵庫芸術文化センター管弦楽団
指揮 佐渡 裕 兵庫県立芸術文化センター芸術監督

兵庫県公館会場において、神戸市混声合唱団が、献唱曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を捧げた。



神戸市混声合唱団

14 御供花・献花

御霊前に献花し、犠牲となられた幾多の尊い御霊の安らかならんことをお祈りした。



秋篠宮皇嗣同妃両殿下による御供花



献花（兵庫県公館会場）



献花（HAT神戸会場）

15 記帳所

震災で犠牲となられた方々への追悼の意を表することができるよう、両追悼式典会場等に記帳所を設置し、590件の記帳が捧げられた。



記帳所（兵庫県公館会場）



記帳所（神戸市立神戸生田中学校）



記帳所（HAT神戸会場）

3 防災関係者からの活動御聴取

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、追悼式典への御臨席に先立ち、防災・減災活動の実践者から活動内容を御聴取された。

日 時 令和2年1月17日(金) 11:12～11:27
場 所 兵庫県公館3階 第1会議室
概 要 活動内容をまとめたパネルにより説明

〔説明者及び説明内容〕

説明者	説明内容
兵庫県立尼崎小田高等学校 普通科看護医療・健康類型 3年生 網 彩稀 奥村しえり	・看護医療・健康類型の取組み（「あまおだ減災フェスティバル」の開催、地域住民との「防災・絆マップ」づくり等） ・市民向けの防災ワークショップの開催や小学校への防災出前授業、熊本地震被災地への訪問
神戸市北消防団長 小西 元八	・阪神・淡路大震災時の消防団員の活動（被災家屋からの救助活動、消火活動、警戒パトロール、救援物資の搬送等） ・神戸市消防団の活動内容（子ども達への防災教育、スマートフォンアプリを活用した災害時の情報共有等）
北淡震災記念公園 震災の語りべボランティア 廣岡 卓樹	・震災の語りべ発足の経緯 ・活動内容（公園内での語りべ、全国各地での出張語りべ、東日本大震災や熊本地震被災地での交流・語りべ活動の立ち上げに係るアドバイス等）
特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所理事長 野崎 隆一	・神戸まちづくり研究所設立の経緯 ・活動内容（阪神・淡路大震災及び東日本大震災等の被災地における住民主体のまちづくりやコミュニティ再生への支援、被災地の住民と修学旅行生が交流する事業の実施等）



防災関係者からの活動御聴取

4 1.17ひょうごメモリアルウォーク2020

阪神・淡路大震災から復興した街並みや震災モニュメントを巡り、防災意識を高めるとともに、東日本大震災などでも明らかになった交通機関の途絶を想定し、来たるべき災害に備えるため、緊急時の避難路、救援路として整備された山手幹線等を歩いてゴールのHAT神戸をめざした。

ウォークは、東ルートとして西宮市役所(西宮市)からの15キロコースをはじめ、川西運動場(芦屋市)からの10キロコース、王子公園(神戸市灘区)からの2キロコース、西ルートとして、須磨海浜公園(神戸市須磨区)からの15キロコース、神戸常盤アリーナ(神戸市長田区)からの10キロコース、神戸市立中央体育館(神戸市中央区)からの5キロコースの6つのコースで行った。

特に、震災25年にあたり、新たに、ウォークに防災学習(講話)を組み込んだ「子ども・若者ウォーク」を実施し、被災地内の小中高700人の参加を得た。

併せて、事業所、学校等の団体が、災害時の徒歩での出勤・帰宅・避難等を想定して、それぞれの事業所や学校からHAT神戸を目指す企業等訓練ウォークも実施した。

区分			出発	スタート地点	参加者数
一般 ウォーク	東ルート	15 キロコース	8:00	西宮市役所	500 人
		10 キロコース	8:30	芦屋市川西運動場	400 人
		2 キロコース	11:00	王子公園	400 人
	西ルート	15 キロコース	8:00	須磨海浜公園	300 人
		10 キロコース	8:30	神戸常盤アリーナ	300 人
		5 キロコース	10:15	神戸市立中央体育館	700 人
子ども・若者ウォーク			各自設定	神戸市内の3小中高校	700 人
企業等訓練ウォーク			各自設定	各事業所・学校	600 人
計					3,900 人

※ボランティア数 200人(休憩所の運営等)

※「メモリアルウォーク登録制度*」による参加：1企業100人

*1/17前後の休日に事業所等が実施する独自ウォークを事前登録

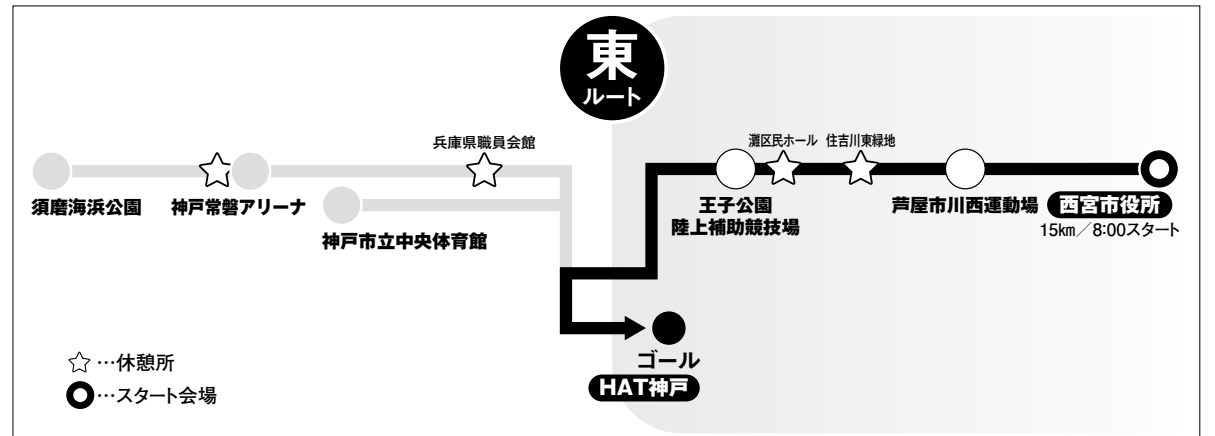


西5キロコース・出発直後



HAT神戸・ゴールの様子

1 東ルート・15キロコース(西宮市役所出発)



石井西宮市長のスタート宣言を合図に、約500人が西宮市役所を出発した。



出発式あいさつ



スタート宣言

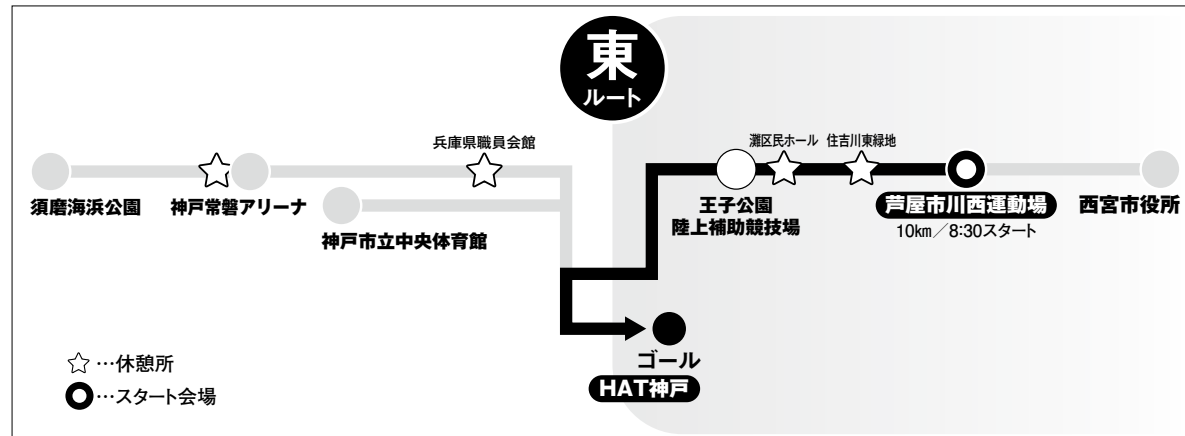


西宮市役所前



灘区民ホール(休憩所)

2 東ルート・10キロコース(芦屋市川西運動場出発)



伊藤芦屋市長のスタート宣言を合図に、約400人が川西運動場を出発した。



受付の様子



スタート宣言

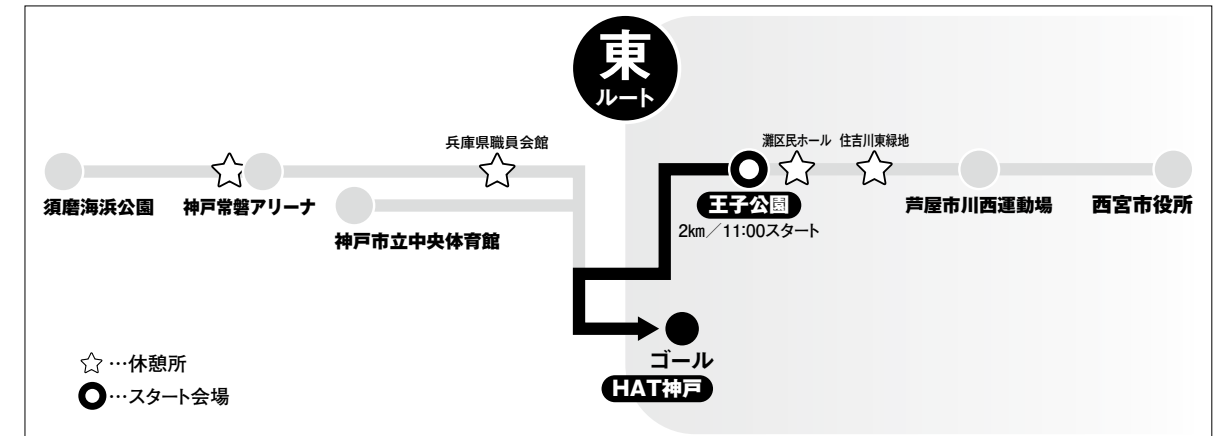


芦屋会場出発直後



住吉川東緑地(休憩所)

3 東ルート・2キロコース(王子公園出発)



松本兵庫県神戸土木事務所長のスタート宣言を合図に、約400人が王子公園を出発した。



スタート宣言



王子陸上補助競技場付近

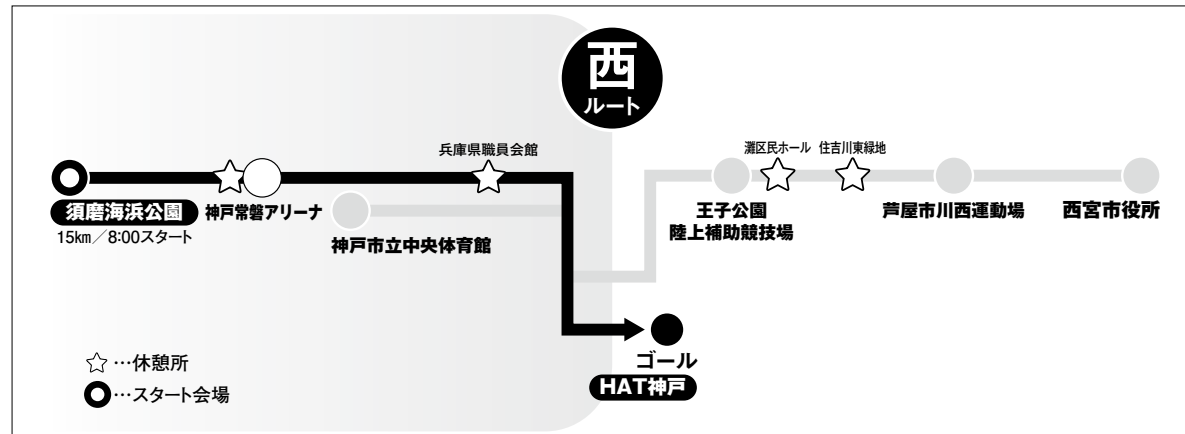


灘区城内通付近



ミュージアムロード県立美術館付近

4 西ルート・15キロコース(須磨海浜公園出発)



正垣兵庫県神戸県民センター副センター長のスタート宣言を合図に、約300人が須磨海浜公園を出発した。



みんなで準備運動



スタート宣言

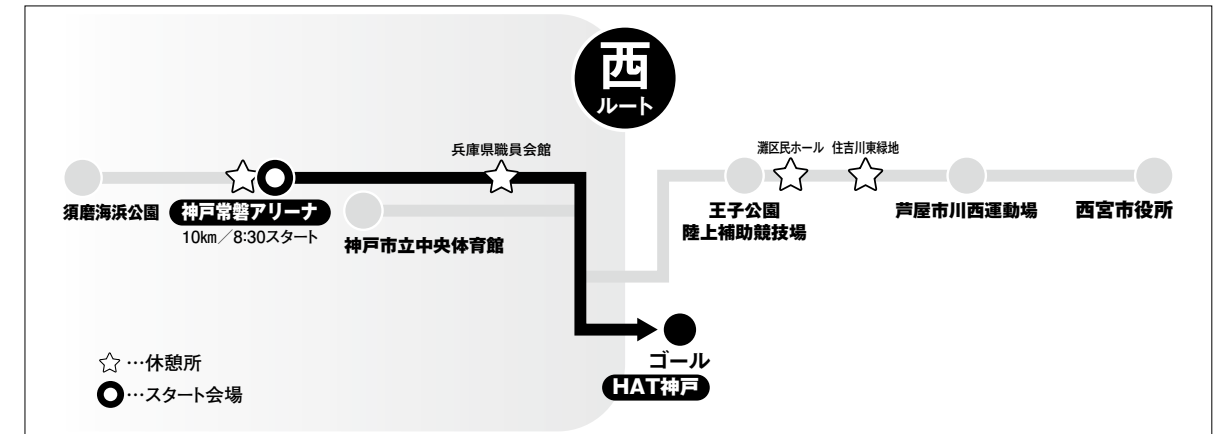


須磨海浜水族園前



須磨海浜水族園駐車場前

5 西ルート・10キロコース(神戸常磐アリーナ出発)



藤原兵庫県神戸県民センター長のスタート宣言を合図に、約300人が神戸常磐アリーナを出発した。



受付の様子



スタート宣言



神戸常磐アリーナスタート直後



村野工業高等学校付近

8 企業等訓練ウォーク

大阪ガス(株)兵庫導管部やポーアイ4大学連携推進センターなど、11団体の約600人が、それぞれの事業所や学校からゴールのHAT神戸を誘導拠点と想定し、出勤・帰宅・避難等訓練や災害時帰宅支援ステーション(コンビニ等)の運営実証訓練等を実施した。

また、1月17日前後の休日に事業所等が実施する独自ウォークを事前登録する制度を設け、1企業約100人が参加した。



HAT神戸のゴールを目指す企業等訓練ウォーク参加者



9 震災写真パネル及び「防災力強化県民運動ポスターコンクール」作品展示

阪神・淡路大震災25年の節目にあたり、防災意識の高揚を図るため、東ルート休憩所の灘区民ホール及び西ルート休憩所の兵庫県職員会館において、震災写真パネル及び「防災力強化県民運動ポスターコンクール」の令和元年度受賞作品を展示した。



震災写真パネル展示



ポスターコンクール作品展示

5 交流ひろば・交流ステージ・防災訓練等

1 交流ひろば

HAT神戸会場では、関係機関やNPO、ボランティアグループ等による活動展示や炊き出し、子どもたちを対象にした防災体験、防災教室などを実施した。

展示コーナーには、83団体(平年の3割増)が出展し、多様な情報を発信・交流した。

時 間 10:30~15:00

場 所 HAT神戸・なぎさ公園(神戸市中央区脇浜海岸通)

内 容

- ・関係機関、団体、企業による展示・体験
 - 〔フェニックス共済、こくみん共済、耐震改修、食料品備蓄、災害伝言ダイヤル、インフラ・電気・ガスの防災対策、災害用トイレ、炊き出し 等〕
- ・阪神・淡路大震災の経験・教訓を発信する展示
 - 〔減災グッズ、災害時の食や健康、DMAT、災害対策車 等〕
- ・東日本大震災、熊本地震等の被災地応援・観光のPR等
 - 〔東北3県の観光PR・特産品販売、熊本県・岡山県等被災地応援ブース、シンサイミライノハナ(東北へのメッセージ)、新宮晋アートプロジェクト「元気のぼり」、災害ボランティア活動 等〕
- ・ボランティアグループ等による炊き出し など



企業による体験車両(起震車)



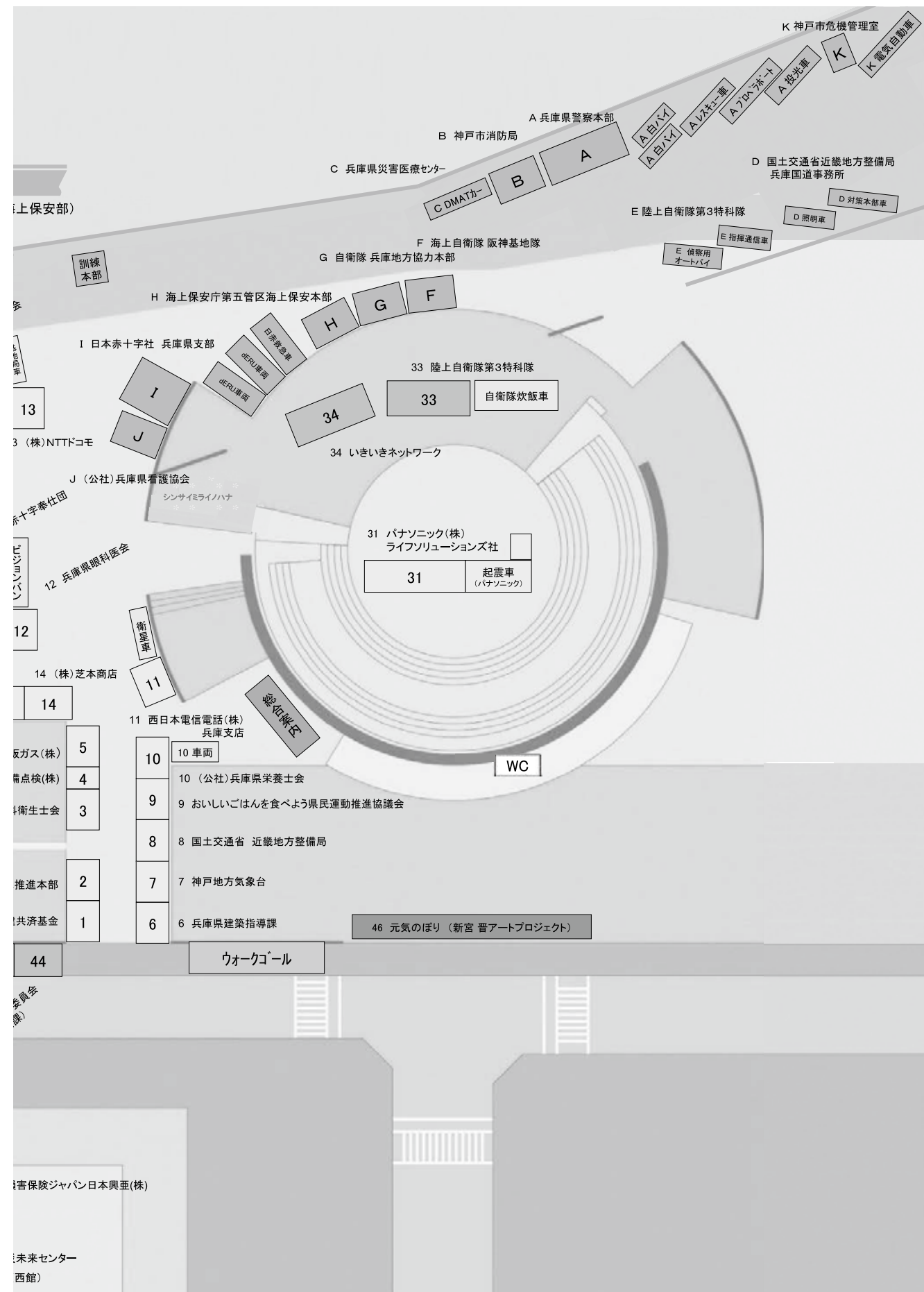
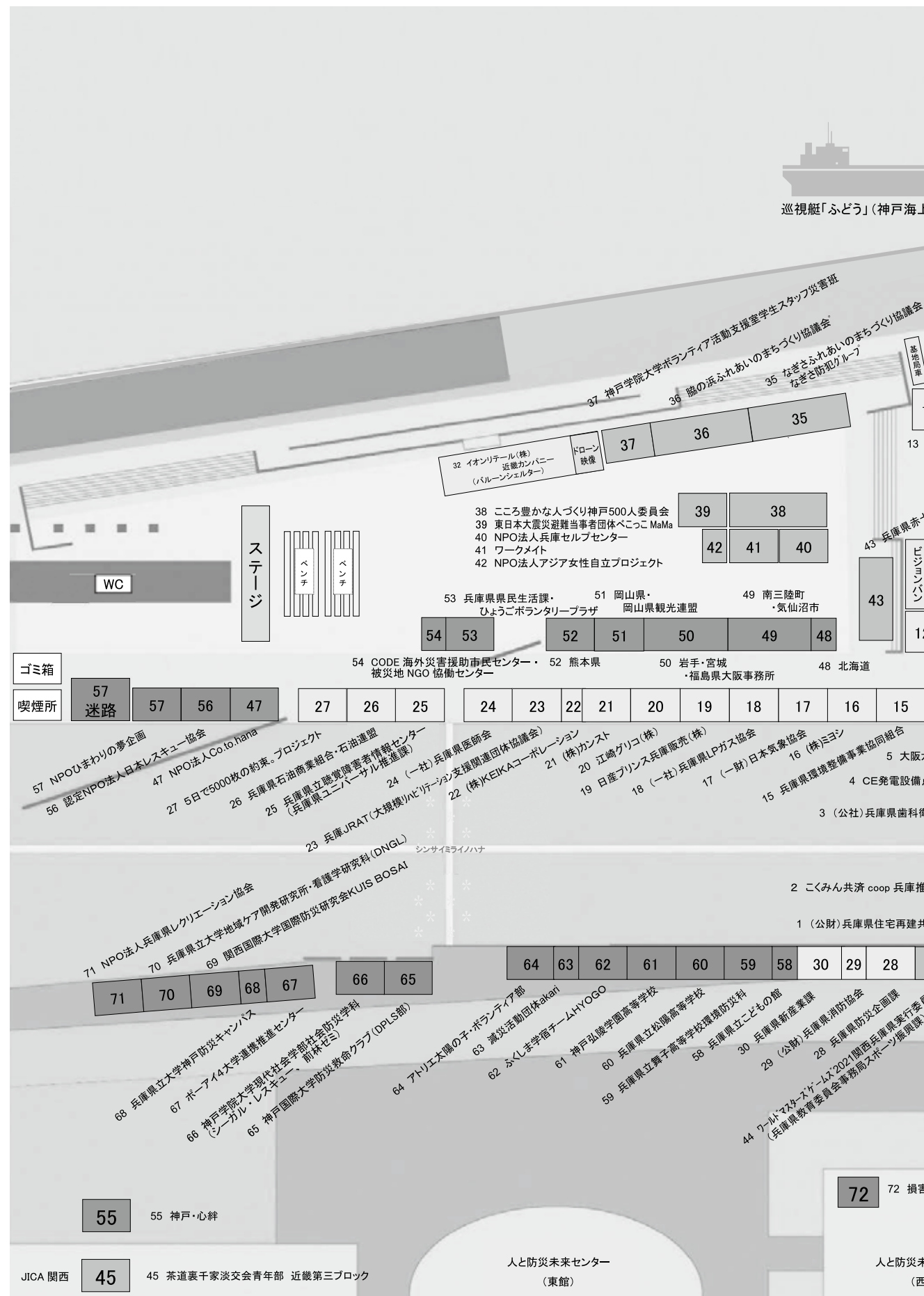
関係団体による展示



学生団体による炊き出し



被災地支援(物販・観光PR)



〔交流ひろば出展者一覧〕

		出展者	出展テーマ
暮らしを守る	1	(公財)兵庫県住宅再建共済基金	兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)のP R
	2	こくみん共済 coop 兵庫推進本部	住まいる共済P R
	3	(公社)兵庫県歯科衛生士会	災害時における口腔ケア
	4	C E 発電設備点検(株)	お勤め先のビル、お住まいのマンション等にある「非常用発電機を守る」
	5	大阪ガス(株)	大阪ガスの防災への取り組み
	6	兵庫県建築指導課	「ひょうご住まいの耐震化促進事業」のご案内
	7	神戸地方気象台	災害に備えよう
	8	国土交通省 近畿地方整備局	近畿地方整備局における防災への取り組み
	9	おいしいごはんを食べよう 県民運動推進協議会	1月17日は「おむすびの日」
	10	(公社)兵庫県栄養士会	災害時に備えた家庭の食料備蓄の充実(災害時の「食」に備える)
	11	西日本電信電話(株)兵庫支店	災害用伝言サービス「171」&「Web171」の体験
	12	兵庫県眼科医会	眼科災害医療～これまで・これから～ ビジョンパン(眼科医療支援車両)展示の診療体験
	13	(株)NTTドコモ	ドコモの災害対策に関する紹介
	14	(株)芝本商店	二次災害から被災者を守る
	15	兵庫県環境整備事業協同組合	災害時の廃棄物処理
	16	(株)ミヨシ	災害時の備えは万全ですか
	17	(一財)日本気象協会	(一財)日本気象協会推進「トクする!防災」プロジェクト
	18	(一社)兵庫県LPガス協会	1月17日はLPガス減災の日
	19	日産プリンス兵庫販売(株)	非常用電源にも使える電気自動車
	20	江崎グリコ(株)	備蓄商品の展示
	21	(株)カンスト	防災備蓄と通信環境の構築
	22	(株)KEIKA コーポレーション	約30秒～1分で組み立てプライバシーパネル付き ダンボールベッド
	23	兵庫 JRAT(大規模リハビリテーション 支援関連団体協議会)	兵庫 JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会) の紹介
	24	(一社)兵庫県医師会	JMAT兵庫の医療支援活動の紹介
	25	兵庫県立聴覚障害者情報センター(兵庫 県ユニバーサル推進課)	災害時聴覚障害者への配慮について
	26	兵庫県石油商業組合・石油連盟	住民の命を守る「石油」「石油機器」のご提案
	27	5日で5000枚の約束。プロジェクト	畳店としての、災害時の自助活動
	28	兵庫県防災企画課	南海トラフ地震等に備える
	29	(公財)兵庫県消防協会	地域の安全・安心を守るひょうごの消防団
	30	兵庫県新産業課	ドローンが拓く防災の未来 ～兵庫県・神戸市ドローン先行的利活用事業～
	31	パナソニック(株) ライフソリューションズ社	パナソニック「毎日が、備える日。」安全啓蒙プロジェクト
	32	イオンリテール(株)近畿カンパニー	イオンの防災への取組(備える)

助け合い	33	陸上自衛隊第3特科隊	・任務完遂 ・地域との連携
	34	いきいきネットワーク	「ひょうご安全の日のつどい」炊き出し
	35	なぎさふれあいのまちづくり協議会 なぎさ防犯グループ	炊出し
	36	協の浜ふれあいのまちづくり協議会	炊出し
	37	神戸学院大学ボランティア活動支援室 学生スタッフ災害班	被災地支援物産展～続ける支援～
	38	こころ豊かな人づくり神戸 500人委員会	神戸500人委員会「500人鍋」と避難防災学習 伝える・活かす・ 備える
	39	東日本大震災避難当事者団体 べこっこ MaMa	避難ママ達による災害への意識の風化を防ぐ活動
	40	NPO 法人兵庫セルフセンター	障害がある人の働く願いを社会につなぐ
	41	ワークメイト	フィリピン料理の出展
	42	NPO 法人アジア女性自立プロジェクト	フェアトレード製品の販売及び団体の活動紹介のパネル展示
	43	兵庫県赤十字奉仕団	赤十字まごころサービス
	44	ワールドマスタースゲームズ2021 関西 兵庫県実行委員会(兵庫県教育委員会事務 局スポーツ振興課)	ワールドマスタースゲームズ2021 関西のP R
被災地を支援	45	茶道裏千家淡交会青年部 近畿第三ブロック	祈りと絆茶会
	46	新宮 晋アートプロジェクト	アートプロジェクト「元気のぼり」
	47	NPO 法人 Co.to.hana	シンサイミライノハナ PROJECT
	48	北海道	北海道観光キャンペーン
	49	南三陸町・気仙沼市	東日本大震災復興から創生へ～応援ありがとう～
	50	岩手・宮城・福島県大阪事務所	岩手・宮城・福島県復興観光展 宮城・福島県ミニ物産展
	51	岡山県・岡山県観光連盟	豪雨災害からの復興「晴れの国おかやま観光P R」
	52	熊本県	熊本県の観光及び復興P R
	53	兵庫県県民生活課ひょうごボランティア プラザ	災害ボランティア活動紹介
	54	CODE 海外災害援助市民センター・ 被災地 NGO 協働センター	まけないぞうと海外被災地の物産販売
	55	神戸・心絆	1.17、3.11 希望の灯り、鎮魂と絆
防災学習・体験	56	認定 NPO 法人日本レスキュー協会	災害救助犬について知ろう!
	57	NPO ひまわりの夢企画	防災楽習迷路
	58	兵庫県立こどもの館	忘れない・伝える
	59	兵庫県立舞子高等学校環境防災科	舞子高校環境防災科の活動について
	60	兵庫県立松陽高等学校	高校生による SDGs Project
	61	神戸弘陵学園高等学校	高校生が見た阪神・淡路大震災と避難所
	62	ふくしま学宿チーム HYOGO	ふくしま学宿報告～高校生が学び感じたふくしまの今～
	63	減災活動団体 akari	新しい減災継承のかたち
	64	アトリエ太陽の子・ボランティア部	1.17は忘れない。心の手を繋ごう～命の一本桜プロジェクト～
	65	神戸国際大学防災救命クラブ(DPLS部)	災害関連死を防ごう・避難所等で役立つ体操・ゲーム・
	66	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 (シーガル・レスキュー、前林ゼミ)	大規模災害に備えよう!
	67	ポーアイ4大学連携推進センター	災害に備えて!～今、わたしたちにできること～
	68	兵庫県立大学 神戸防災キャンパス	兵庫県立大学・神戸防災キャンパスの減災復興の取組・兵庫の教訓 を未来へ・世界へ・

	69	関西国際大学 国際防災研究会 (KUIS BOSAI)	体験型防災ブース
	70	兵庫県立大学地域ケア開発研究所・看護学研究科 (DNGL)	命を守るための行動ーいつ、どう避難したらいいの？ー
	71	NPO 法人兵庫県レクリエーション協会	子どものころをいやすバルーン
	72	損害保険ジャパン日本興亜 (株)	防災ジャパンダプロジェクト
防災最前線	A	兵庫県警察本部	警察における災害警備活動
	B	神戸市消防局	震災の記録
	C	兵庫県災害医療センター	救急車両・パネル展示
	D	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所	災害対策用機械の展示
	E	陸上自衛隊第3特科隊	・任務完遂 ・地域との連携
	F	海上自衛隊 阪神基地隊	防災器材を使って学べる体験型展示
	G	自衛隊 兵庫地方協力本部	自衛隊の災害派遣活動等の紹介
	H	海上保安庁 第五管区海上保安本部	海上保安庁の災害対応について
	I	日本赤十字社 兵庫県支部	国内型緊急対応ユニット (dERU) 及び車両展示 心配蘇生と AED 体験コーナー
	J	(公社) 兵庫県看護協会	兵庫県看護協会 健康危機対策ー災害支援ナース活動の記録展示と 災害時に役立つ三角巾を使った応急救護ー
	K	神戸市危機管理室	外部給電デモ

2 交流ステージ

被災地のマスコットキャラクターによる防災クイズショーやミニライブ等に加え、新たにエンターテイメントや和太鼓ライブを実施した。

時 間 10:30～15:00
場 所 H A T 神戸・なぎさ公園 (神戸市中央区脇浜海岸通)
内 容

- ・熊本観光復興 P R (くまもん隊)
- ・ミニライブ (あまゆうず、チキンガーリックステーキ)
- ・防災クイズ (日本気象協会の気象予報士、はばタン、東北・岡山のマスコットキャラクター等)
- ・エンターテイメント (ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)
- ・和太鼓ライブ (太鼓奏者 木村優一)

〔プログラム〕

開 始	終了	所要時間	内 容	出演者
10:30	10:40	10 分	熊本観光復興の P R	くまモン隊
10:45	11:05	20 分	ミニライブ	あまゆうず
11:10	11:30	20 分	防災クイズショー	一般財団法人日本気象協会の気象予報士、はばタン、東北・岡山のマスコットキャラクター 等
(追悼行事のためステージ中断)				
13:15	13:55	40 分	ミニライブ	チキンガーリックステーキ
14:00	14:30	30 分	エンターテイメント	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
14:35	15:00	25 分	和太鼓ライブ	木村優一



熊本観光復興のPR（くまモン隊）



ミニライブ（チキンガーリックステーキ）



ミニライブ（あまゆうず）



エンターテイメント（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）



防災クイズショー



和太鼓ライブ

3 防災訓練

県民参加による防災関係機関と連携した実践的な「防災訓練」を実施し、県民の災害対応能力の向上を図った。

時 間 13:00～15:00

場 所 HAT神戸・なぎさ公園及び南側海上（神戸市中央区脇浜海岸通）

内 容 海上からの避難広報訓練、要援護者避難誘導訓練、漂流者救出救助訓練、漂流者搬送訓練、負傷者等搬送訓練、物資搬送訓練、海上消火訓練、ドローンを活用した上空からの避難広報訓練・映像配信訓練、巡視艇の一般公開

参加者 500人



ドローンを活用した映像配信訓練



要援護者避難誘導訓練



負傷者等搬送訓練



物資搬送訓練

4 施設見学(人と防災未来センター)

毎月17日は、人と防災未来センターは無料開放としており、メモリアルウォークや追悼式典参加者が来館した。(見学者5,200人)

また、震災25年の機会を捉えて実施した特別展示等を多くの方が観覧した。

① 震災特別展示

- ・GISで見直す被災地図
専門家の協力を得て、手描きなどでデジタル化が進んでいなかった被災地の地図をデジタル化して展示。
- ・公開：新たな震災資料
これまで公開されてこなかったセンターの収蔵資料を、震災の経験がない地元中学生が作成した資料の紹介文とともに新たに公開し、震災の経験や教訓を来館者に紹介。

② 117BOX・いいなの箱展

阪神・淡路大震災から25年が経過する中で、記憶に残る大切なものの提供を広く呼びかけ、お寄せいただいたモノ・コトを117個の透明の箱に入れ、それぞれに込められたメッセージとともに展示。



GISで見直す被災地図<西館1階>



117BOX・いいなの箱展<西館2階>

6 地域のつどい

「ひょうご安全の日」神戸地域のつどい

1 1.17ひょうごメモリアルウォーク2020

阪神・淡路大震災から復興した街並みや震災モニュメントを巡り、風化しがちな防災意識を高めるとともに、東日本大震災においても明らかになった交通機関の途絶を想定し、来たるべき災害に備えるため、緊急時の避難路・救援路として整備された山手幹線等を歩く。

神戸県民センターは、東ルート・2キロコース(王子公園)、西ルート・15キロコース(須磨海浜公園)、10キロコース(神戸常盤アリーナ)、5キロコース(神戸市立中央体育館)の4つの出発地点運営を行った。

(1) 日時・場所

令和2年1月17日(金) 7:40~11:00

- ・王子公園
- ・須磨海浜公園
- ・神戸常盤アリーナ
- ・神戸市立中央体育館

(2) 内容

① 出発式

概要説明、準備体操

② スタート

スタート宣言

【王子公園】松本神戸土木事務所長

【須磨海浜公園】正垣副センター長

【神戸常盤アリーナ】藤原センター長

【神戸市立中央体育館】山平神戸市危機管理監

③ ゴール(HAT神戸)



2 震災を伝えるパネル展

阪神・淡路大震災後の被災状況や震災後の商店街の取組等をパネルによって展示(主催：新長田本町筋商店街連合会、共催：(株)神戸ながたティ・エム・オー、神戸生活創造センター)。また、1月17日(金)には、県公館で行われた「1.17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典ー」の様子を、新長田合同庁舎1階・神戸生活創造センターギャラリー前にてリアルタイムで配信。

(1) 日時・場所

令和2年1月14日(火)~18日(土)

10:00~18:00

新長田合同庁舎1階神戸生活創造センターギャラリー

(2) 展示内容

- ・阪神・淡路大震災の被災状況、震災後の商店街の取組
- ・本町筋、大正筋、西神戸センター街のパネル
- ・六間道四丁目商店街の行灯の武者絵、震災後の映像放映(本町筋スライド、大正筋DVD)



「ひょうご安全の日」阪神南地域のつどい

「ひょうご防災減災推進条例」に基づき、減災社会の構築を目指して、阪神・淡路大震災の経験と教訓を次世代へと継承し、次の大災害への備えや対策の充実を図るため、地域で災害に対処するための能力の向上に資することを目的に実施した。

1 日時・場所

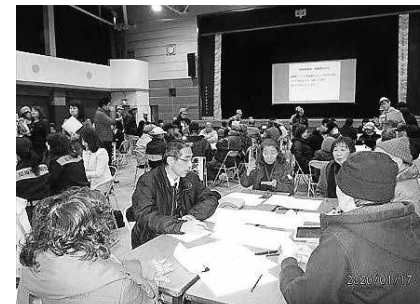
令和2年1月17日(金) 13:30～17:30
尼崎市立園田中学校 (参加者 約850人)

2 プログラム・内容

(1) 地域防災訓練

訓練想定：上町断層帯を震源とするマグニチュード7.5の内陸型断層地震。尼崎市では震度7を記録し、交通インフラ及びライフラインに壊滅的な被害が生じる。
市内の建物は、地震の揺れにより約61,000棟が全壊し、火災により約3,000棟が焼失。建物の倒壊による死傷者は約5,200人にのぼる。

訓練内容：シェイクアウト訓練、避難誘導訓練、安否確認訓練、情報伝達訓練、避難所運営訓練、学校対応防災教育、消防対応実技訓練



避難所運営訓練



JMAT との合同訓練

(2) フェニックス共済のPR

啓発チラシ、グッズの配布

(3) 防災・減災の取組みの啓発

備蓄物資(アルファ化米、保存用ビスケット)配布
阪神・淡路大震災を振り返るパネル展示等



阪神・淡路大震災の振り返り

「ひょうご安全の日」阪神北地域のつどい

「避難行動(安全確保)に必要な意識と備え」をテーマに、県民が防災・減災についての知識を深め、地域防災力を高める機会を提供した。

1 日時・場所

令和2年1月13日(月・祝) 13:30～16:15
川西市アステホール(参加者184人)

2 プログラム・内容

(1) 主催者挨拶 阪神北県民局長 坂本 哲也

(2) 基調講演「避難と避難行動～『わがこと意識』で災害を乗り越える防災心理学入門」

【講師】兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授 木村 玲欧

【主な内容】西日本豪雨等で有効だった自治会等による避難事例及び行動につながる心構え等の紹介

(3) パネルディスカッション「避難行動における防災士の役割」

【ファシリテーター】NPO法人兵庫県防災士会(阪神エリア)

【パネリスト】伊丹防災士の会、宝塚・防災リーダーの会、かわにし防災士の会、さんだ防災リーダーの会、猪名川町防災士の会

【主な内容】各市町防災士の会の活動紹介と、「避難行動」に関する各会の活動の工夫及び課題の確認

(4) 展示コーナーでの交流会及び「ひょうご『学ぼう災』かるた」の体験

【主な内容】防災士の会6団体による活動展示の前での参加者と防災士による意見交換
2つのコーナーでの「ひょうご『学ぼう災』かるた」の体験及び使い方の説明



- 基調講演では、地域や個人ですぐに取り組める内容が紹介され、参加者の満足度は高かった。
- パネルディスカッションや展示により、防災士の活動を初めて知った参加者がおり、防災士の周知に有効であった。
- 防災の知識・行動・心構えを示したかるたを参加者全員に配布。防災意識の高揚に努めた。

「ひょうご安全の日」東播磨地域のつどい

「災害に強い東播磨」を将来にわたって支える人材を育成するため、小中学生や保護者、地域住民等を対象とした防災知識の普及を通じて、地域防災力の強化を図った。

1 日時・場所

令和2年1月26日(日) 10:00～14:00

明石市防災センター (参加者127人)

令和2年2月9日(日) 10:00～14:00

加古川市防災センター (参加者107人)

2 プログラム・内容

(1) 防災講話

【講師】石崎 徹(兵庫県防災士会)

・地震や台風の恐怖、命を守る備え、避難するタイミングを考える

(2) 災害非常食づくり

・アルファ化米のご飯を水でもどし実食、
普段食べることのない非常食を知る

(3) 施設見学

・地震体験、煙避難訓練

(4) 応急手当訓練

(5) 段ボールベッド・トイレ作成体験

(6) 非常持ち出し袋体験

(7) マイ避難カード作成



「ひょうご安全の日」北播磨地域のつどい

防災意識の啓発を図るため、防災訓練や「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信等からなる「ひょうご安全の日」北播磨地域のつどいを実施した。

1 実施日時

令和2年2月9日(日) 10:30～13:30

2 実施場所

西脇市立西脇中学校

3 参加人数

約800人



4 主な実施内容

(1) 地域防災訓練

訓練想定：令和2年2月9日(日)午前10時30分、西脇市を震源としたマグニチュード6.9の直下型地震が発生、西脇市において震度6強を観測。

訓練内容：シェイクアウト訓練、災害対策本部設置訓練、防災関係機関対策本部設置訓練、情報収集・広報訓練、避難誘導訓練、避難者輸送訓練、倒壊家屋救出訓練、初期消火訓練等

(2) 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信

(3) フェニックス共済のPR

・啓発チラシ配布
・相談コーナー設置

(4) 防災・減災の取組みの啓発

・パネル展示
・災害対策グッズの配布
・ひょうご防災ネット登録啓発チラシ配布 等



「ひょうご安全の日」中播磨のつどい 阪神・淡路大震災25年記念事業 令和元年度 中播磨地域防災講習会

自然災害による被害を減じ、防ぐことができる社会を実現していくためには、行政による防災対策の充実とあわせて、住民一人ひとりの自助意識の向上を目的とした県民の防災意識を喚起することが必要である。

そのため、中播磨地域では、地震をはじめとした災害への関心が高まる「ひょうご安全の日（1月17日）」周辺に、広く県民および関係者が防災についての知識を深める機会を提供することにより、安全で安心な地域づくりを推進している。

震災25年となる今年度は、震災の経験と教訓を踏まえ、国内で頻発している大規模自然災害の実情と対応を学び、防災意識を高めるため、講習会を開催した。

1 日時・場所

令和2年1月18日（土） 13:30～16:30
神河町中央公民館グリンデルホール
（参加者269人）

2 プログラム・内容

(1) 主催者挨拶

小橋 浩一（中播磨県民センター長）
山名 宗悟（神河町長）

(2) 講演会「防災気象情報を有効に活用しよう」

【講師】太田 貴郎（神戸地方気象台 防災管理官）
【主な内容】

- ・兵庫県の気象特性について
- ・気象災害について
- ・防災気象情報の有効活用について

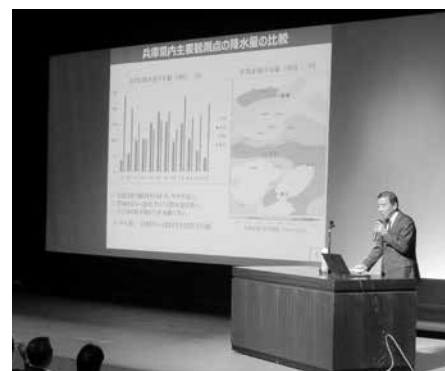
(3) 講演会「地域防災力の向上 ～地区防災計画の策定に向けて～」

【講師】足立 稔（朝来市危機管理室 危機管理監）
【主な内容】

- ・朝来市の風水害被害について
- ・朝来市の災害対応体制について
- ・地区防災計画作成について

(4) 「1.17ひょうご安全の日宣言」

【宣言者】岩城 正彦（神河町区長会長）



「ひょうご安全の日」西播磨地域のつどい

阪神・淡路大震災や平成21年台風第9号豪雨災害をはじめとした、過去の災害の経験と教訓を継承し、将来の災害への備えの充実を図るため、「ひょうご安全の日」西播磨地域のつどいを開催し、西播磨地域における防災意識の高揚を図った。

1 日時・場所

令和2年1月18日（土） 13:30～16:00
上郡町生涯学習支援センター （参加者 約350人）

2 プログラム・内容

(1) 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信

(2) 防災活動事例発表

- ・上郡町地域防災リーダーの会 「上郡町地域防災リーダーの会の活動について」
- ・赤松地区自主防災組織連合会 「地区防災計画に基づく実践活動について」

(3) 防災講演会

【講師】渥美 公秀氏（大阪大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 教授）

【演題】誰もが「助かる」防災に向けて災害時に多様な住民が誰一人として取り残されることなく「ああ、助かった」と言い合える社会を目指す防災とは。実は、それは既に地域で頑張っておられるまちづくりに織り込むことだということを専門家の役割などを交えて講演

(4) フェニックス共済の出前受付・P R

相談・受付コーナーの設置、啓発チラシの配布

(5) 展示

阪神・淡路大震災の記録写真、非常持出袋など防災・減災の取組の啓発、上郡町地域防災リーダーの会の活動紹介

(6) その他特徴

聴覚障害者への情報配慮のため、手話通訳・要約筆記・磁気ループの実施



「ひょうご安全の日」但馬地域のつどい

住民の防災意識の向上を目的に、災害の様子や発生メカニズム等に関するパネル・映像の展示を実施した。

1 実施日時 令和2年1月14日(火)～1月24日(金) 9:00～17:30

2 実施場所 豊岡総合庁舎(豊岡市幸町7-11)

3 参加人数 約200人

4 主な実施内容

(1) 災害の経験と教訓の発信

阪神・淡路大震災の記録写真、但馬地域の過去の災害(平成16年台風23号災害等)のパネル展示や防災・減災の取組を紹介した。

(2) 防災対策の啓発

災害の発生メカニズム等に関する映像を放映し、防災対策について普及・啓発を行った。

(3) 兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)の普及

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)について、パネル展示やチラシの配布により普及に取り組んだ。

(4) 1.17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典ー映像上映

兵庫県公館、H A T神戸(人と防災未来センター慰霊のモニュメント前)で開催された、「1.17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典ー」の中継映像を上映した。



「ひょうご安全の日」丹波地域のつどい

被災県として震災を風化させないよう、経験と教訓を継承し、県民一人ひとりが大震災を忘れず、将来の災害への備えの一層の充実を図るため、自治会等の地域住民と学校、関係機関・団体等が連携した防災訓練・防災学習を内容とする「ひょうご安全の日」丹波地域のつどいを実施した。

1 日時・場所

令和2年1月17日(金) 9:45～11:45
丹波篠山市立城南小学校(参加者:270人)



2 プログラム・内容

(1) 地震を想定した避難訓練

誘導経路・体制の確認、児童による避難行動の実践

(2) 防災講話

阪神・淡路大震災の概要説明や備えについての講話(震災・学校支援チーム(EARTH)より)

(3) 「ひょうご安全の日」地域のつどい

- ・献唱曲「しあわせ運べるように」合唱
- ・「1.17ひょうご安全の日宣言」宣誓
- ・防災グッズ進呈

(4) 防災訓練

①防災クイズ

震災・学校支援チーム(EARTH)によるクイズ形式での防災に必要な知識の学習

②自衛隊体験

自衛隊による糧食の紹介や自衛隊車両・災害状況を記録したパネル等の展示

③段ボールベッド体験

丹波市防災会による避難所での受け入れを想定した段ボールベッドやテントの体験、避難所生活についての講話

④地震体験車訓練

プロセブン株式会社による南海トラフ地震を想定した最大震度7の地震体験

⑤警察車両展示

篠山警察署による警察車両の機能説明や車内見学



「ひょうご安全の日」淡路地域のつどい

阪神・淡路大震災で犠牲となった方々への追悼を行うとともに、後世へ震災の記憶の伝達を図るため、震災の発生時刻に合わせて精霊流し等を実施した。

また、震災から25年を迎えるにあたり、震災の体験や記憶を風化させず、教訓を次世代に伝えるとともに、今後発生が予測される大規模自然災害への備えをさらに普及していくため、シンポジウムを開催した。

1 追悼行事

(1) 日時・場所

令和2年1月17日(金) 5:30～6:15
北淡震災記念公園 (参加者 約200人)



(2) プログラム・内容

- 精霊流し
島内の犠牲者数(島外で亡くなった1人を含む)と同じ63本の竹灯籠に火を灯し、静かに水に浮かべる
- フェニックス合唱団による合唱
- 献花
- 「1.17ひょうご安全の日宣言」の発信



2 シンポジウム

(1) 日時・場所

令和2年1月22日(水) 13:15～15:45
洲本市文化体育館 (参加者 約350人)



(2) プログラム・内容

- 「淡路の共助の真実に迫り、今後に活かす
ー発災から25年、25人の証言を中心にー」
関西国際大学 副学長、基盤教育機構教授
齋藤 富雄 氏
- 「厳しさを増す災害に向かい合う
～求められる主体的な自助・共助～」
東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会会長
片田 敏孝 氏



7

5 時46分行事

阪神・淡路大震災が発生した午前5時46分に、県幹部職員による震災犠牲者の追悼のための黙祷、鳴鐘及び知事訓辞等を実施し、安全・安心な社会づくりを誓った。

時 間	実施内容	場 所
5:40	集 合	県庁2号館13階
5:46	黙 祷 鳴 鐘 (自由の鐘)	みどり展望園
6:00	知 事 訓 辞	県庁2号館5階庁議室
6:30	解 散	



黙祷 (兵庫県庁2号館13階みどり展望台)



知事訓示 (兵庫県庁2号館5階庁議室)

8

ひょうご安全の日のつどい 各種行事等参加者数

区 分	参加者数（人）
1 1.17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典ー	4,400
(1) 兵庫県公館	400
(2) H A T神戸	4,000
2 1.17ひょうごメモリアルウォーク2020	3,900
(1) 一般ウォーク（スタート地点）	2,600
東 15km コース（西宮市役所）	(500)
東 10km コース（芦屋市川西運動場）	(400)
東 2km コース（王子公園補助競技場）	(400)
西 15km コース（須磨海浜公園）	(300)
西 10km コース（神戸常盤アリーナ）	(300)
西 5km コース（神戸市立中央体育館）	(700)
(2) 子ども・若者ウォーク	700
(3) 企業等訓練ウォーク	600
3 ボランティア数	200
4 防災訓練(展示スペースでの体験参加除く)	500
5 記帳	590
(1) 兵庫県公館	340
(2) 人と防災未来センター	150
(3) 神戸市立神戸生田中学校	100
6 献花	2,300
(1) 兵庫県公館	500
(2) 人と防災未来センター	1,800
合 計	11,890

参考：人と防災未来センター来館者数(無料開放) 5,200人

阪神・淡路大震災犠牲者追悼式典の震災1周年から25年までの取組

		1 周年	2 周年
名 称		阪神・淡路大震災犠牲者追悼式	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式
開 催 日		平成 8 年 1 月 17 日（水）	平成 9 年 1 月 17 日（金）
場 所		兵庫県公館	兵庫県公館
主 催 者		阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会	阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会
参 加 者 数		711 名	390 名
主な来賓	[皇 室]	○皇太子同妃両殿下	○秋篠宮同妃両殿下
	[政府代表等]	○内閣総理大臣、衆議院議長、最高裁判所長官、副総理兼大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁阪神・淡路復興対策担当・経済企画庁・科学技術庁長官、県選出国会議員等	○内閣総理大臣、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等
	[ご遺族代表]	○庄 隆宏、吉田 紀美子(34名)	○村田 延子、堀 正明（20 名）
	[外国政府代表]	○在関西総領事	○在関西総領事
	[公 共 団 体]	○被災市町代表、全国知事会・市長会・町村会・町村議長会代表等	○被災市町代表等
	[一 般]	○五木ひろし、渡辺貞夫	○安藤忠雄、磯崎新、五木ひろし
式 次 第		・犠牲者ご芳名名簿奉呈 【実行委員:町村会会長】 ・開式の辞【実行委員:県議会議長】 ・やすらぎの音 ・黙祷 ・追悼式辞【実行委員長：知事】 ・追悼曲① ・追悼のおことば【皇太子殿下】 ・追悼の辞 【内閣総理大臣・衆議院議長・最高裁長官】 ・ご遺族代表のことば ・復興の誓い【神戸市長】 ・追悼曲② ・献花	・犠牲者ご芳名名簿奉呈 【実行委員：町村会会長】 ・開式の辞【実行委員：県議会議長】 ・献唱曲① ・黙祷 ・追悼式辞【実行委員長：知事】 ・献唱曲② ・追悼のおことば【秋篠宮殿下】 ・追悼の辞【内閣総理大臣・神戸市長】 ・ご遺族代表のことば ・献花
出 演 者 等		○やすらぎの音：藤舎名生（横笛奏者） ○追悼曲：神戸中央合唱団 曲目：①千原英喜（作・編曲） 古事記「須勢理姫によせる 須佐之男の命の歌」より抜粋 ②千原英喜（作・編曲） 年中行事秘抄「鎮魂祭歌」 より抜粋	○献唱曲 （財）アルカディア音楽芸術振興財団 曲目：①アヴェ・ヴェルム・コルプス ②パニス・アンジェリクス
記 帳・ 献 花 等		・記帳所開設 ・献花は会場のみ	・記帳所開設 ・献花は会場のみ

3 周年	4 周年	5 周年
阪神・淡路大震災犠牲者追悼式	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式	阪神・淡路大震災犠牲者追悼式
平成 10 年 1 月 17 日（土）	平成 11 年 1 月 17 日（日）	平成 12 年 1 月 17 日（月）
兵庫県公館	兵庫県公館	兵庫県公館
阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会	阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会	阪神・淡路大震災犠牲者 追悼式典実行委員会
376 名	355 名	544 名
○秋篠宮同妃両殿下	○秋篠宮同妃両殿下	○皇太子殿下
○内閣総理大臣、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等	○内閣総理大臣、参議院議長、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等	○内閣総理大臣、参議院議長、内閣官房長官阪神・淡路復興対策担当、大蔵・文部・厚生・通商産業・運輸・労働・建設・外務・農林水産・郵政・自治大臣、防衛庁・国土庁・経済企画庁・科学技術庁・環境庁長官、県選出国会議員等
○上田 敏子(19名)	○建沼 真利（19 名）	○照本 与之子(36名)
○在関西総領事	○在関西総領事	○在関西総領事
○被災市町代表等	○被災市町代表等	○被災市町代表等
—	—	—
・犠牲者ご芳名名簿奉呈 【実行委員:県議会議長】 ・献花 ・序曲献唱① ・黙祷 ・追悼式辞【実行委員長:知事】 ・追悼のアリア ・追悼のおことば【秋篠宮殿下】 ・追悼の辞【内閣総理大臣】 ・ご遺族代表のことば ・献唱曲② ・1.17宣言【兵庫会議代表】 ・献唱曲③ ・献花	・献奏曲 ・犠牲者ご芳名名簿奉呈 【実行委員：市長会会長】 ・開式の辞 【実行委員：県議会議長】 ・献唱曲① ・黙祷 ・追悼式辞【実行委員長：知事】 ・追悼のおことば【秋篠宮殿下】 ・追悼の辞 【内閣総理大臣・参議院議長】 ・ご遺族代表のことば ・献唱曲② ・1.17 宣言【兵庫会議代表】 ・献花	・献奏曲 ・犠牲者ご芳名名簿奉呈 【実行委員：市長会会長】 ・開式の辞【実行委員：県議会議長】 ・国歌斉唱 ・黙祷 ・追悼式辞【実行委員長：知事】 ・追悼のおことば【皇太子殿下】 ・追悼の辞 【内閣総理大臣・参議院議長】 ・ご遺族代表のことば ・献唱曲① ・1.17宣言 ・献唱曲② ・献花
○献唱曲 神戸青少年合唱団コスモス 曲目：①フィンランディア ②しあわせ運べるように ③レッツ・サーチ・トゥモロー ○追悼のアリア 足立さつき（ソプラノ歌手） 曲目：アメイジング・グレイス	○献奏曲 伊藤ルミ（ピアニスト） 曲目：抒情の供物 ○献唱曲 神戸青少年合唱団コスモス 曲目：①ふるさと ②しあわせ運べるように	○献奏曲 古部賢一（オーボエ奏者） 曲目：テレマン「12 のファンタジー」 第 2 番イ短調 ○献唱曲 神戸青少年合唱団コスモス 曲目：①しあわせ運べるように ②歌よありがとう
・記帳所開設 ・献花は会場のみ	・記帳所開設 ・献花は会場のみ	・記帳所開設 ・献花は会場のみ

		6 周年	7 周年
名 称		1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2001 (追悼のつどい)	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2002 (追悼のつどい)
開 催 日		平成 13 年 1 月 17 日 (水)	平成 14 年 1 月 17 日 (木)
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		1.17 ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会
追悼のつどい参加者数 (参 加 者 総 数)		146 名 (3,800 名)	138 名 (5,100 名)
主な来賓	[皇 室]	○清子内親王殿下	—
	[政府代表等]	○防災担当大臣、国土交通大臣 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	○國田 万紀子(10名)	○長谷川 精子 (13 名)
	[外国政府代表]	○在関西総領事	○在関西総領事
	[公 共 団 体]	○被災市町長・議長	○被災市町長・議長
式 次 第 (追 悼 の つ ど い)		・ 献奏曲 ・ 開式の言葉 [実行委員：県議会議長] ・ 黙祷 ・ 式辞 [実行委員長：知事] ・ 皇族のお言葉 [清子内親王殿下] ・ 政府代表の言葉 [防災担当大臣] ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲① ・ 1.17宣言 ・ 献花 ・ 献唱曲②	・ 献唱曲① ・ 開式の言葉 [実行委員：県議会議長] ・ 黙祷 ・ 式辞 [実行委員長：知事] ・ 政府代表の言葉 [防災担当大臣] ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲② ・ 1.17 宣言 ・ 献花
出 演 者 等		○献奏曲 兵庫県警察音楽隊 曲目：パールギュント第 1 組曲より 2 番 パールギュント第 2 組曲より 4 番 あの日聞いた歌 (故郷～浜辺の歌～椰子の実～赤とんぼ) ○献唱曲 県立北須磨高等学校合唱部 曲目：①しあわせ運べるように ②黄色い鳥のいる風景	○献唱曲① 県立西宮高等学校合唱部 曲目：タベの歌 あるこうよ ○献唱曲② 神戸市立なぎさ小学校 県立西宮高等学校合唱部 曲目：しあわせ運べるように
追悼のつどい以外の 主 な 行 事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東ルートのみ 3 コース (2) 記念植樹 (コブシ・私立西灘幼稚園児) (3) 会場展示等	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西 2 ルート 5 コース (2) 防災訓練 ・ 場所：湊川多聞小学校 ：神大医学部附属病院南側市道約 300 m (3) 会場展示等
記 帳 ・ 献 花 等		・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ	・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ

	8 周年	9 周年
	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2003 ／未来へひらく (追悼のつどい)	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2004 －復興の歩み確かめる－ (追悼のつどい)
	平成 15 年 1 月 17 日 (金)	平成 16 年 1 月 17 日 (土)
	山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会
	131 名 (5,000 名)	148 名 (5,300 名)
	—	—
	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	○米津 勝之(17名)	○高井 千珠 (16 名)
	○在関西総領事	○在関西総領事
	○被災市町長・議長	○被災市町長・議長
	・ 献奏曲 ・ 開式の言葉 [実行委員：県議会議長] ・ 黙祷 ・ 式辞 [実行委員長：知事] ・ 政府代表の言葉 [防災担当大臣] ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲 ・ 1.17宣言 ・ 献花	・ 献唱曲① ・ 開式の言葉 [実行委員：県議会議長] ・ 黙祷 ・ 式辞 [実行委員長：知事] ・ 政府代表の言葉 [防災担当大臣] ・ 遺族代表の言葉 ・ 献唱曲② ・ 1.17 宣言 ・ 献花
	○献奏曲 県立神戸高等学校吹奏楽部 曲目：ソルヴォークの歌 トロイメライ ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献唱曲① 武庫川女子大学附属高等学校コーラス部 曲目：星に願いを 大空と大地の中で ○献唱曲② 神戸市立なぎさ小学校 武庫川女子大学附属高等学校コーラス部 曲目：しあわせ運べるように
	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西 2 ルート 5 コース (2) 防災訓練 ・ 場所：神戸市立渚中学校 ：人と防災未来センター北側路上 (3) 会場展示等	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・ 東西 2 ルート 5 コース (2) 防災訓練 ・ 場所：人と防災未来センター北側路上 (3) 会場展示等
	・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ	・ 記帳所開設 ・ 献花はつどい会場のみ

10 周年		
名 称	阪神・淡路大震災 10 周年のつどい	
	阪神・淡路大震災 10 周年追悼式典 (兵庫県公館会場／ HAT 神戸会場)	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2005
開 催 日	平成 17 年 1 月 17 日 (月)	
場 所	兵庫県公館／人と防災未来センター	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者	阪神・淡路大震災 10 周年追悼式典委員会	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 実行委員会
参 加 者 数	公館会場 (招待者のみ) 406 名 HAT 神戸会場 1,550 名 (うち招待者 200 名)	4,150 名
	合計 6,100 名	
主な来賓	[皇 室]	○天皇后両陛下
	[政府代表等]	○防災担当大臣ほか 県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	○村松 京子 (19名)
	[外国政府代表]	○在関西総領事
	[公共団体等]	○被災市町長・議長、県関係団体代表等 ○被災地以外市町長・議長、近畿国関係機関、 震災関連有識者、県幹部等
式 次 第 (追悼のつどい)		—
出 演 者 等		—
追悼のつどい以外の 主 な 行 事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西 2 ルート 5 コース、6 出発会場 (2) 防災訓練 ・場所：なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ひろば (会場展示) (4) ふれあい元気アップステージ 高石ともやほか (5) メモリアルスクエア 小曽根実 TUBE ほか
記 帳・ 献 花 等		・記帳所開設 ・一般献花 (式典終了後)

11 周年		12 周年
名 称	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2006	
	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2007	
開 催 日	平成 18 年 1 月 17 日 (火)	
場 所	山手幹線・神戸東部新都心	
主 催 者	ひょうご安全の日推進県民会議	
参 加 者 数	追悼のつどい 1,500 名 メモリアルウォーク 3,300 名 合計 4,800 名	追悼のつどい 1,500 名 メモリアルウォーク 3,400 名 合計 4,900 名
	—	
主な来賓	[皇 室]	—
	[来賓代表等]	○国土交通大臣、防災担当大臣 (代理 内閣府統括参事官) 県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	—
	[県 民 代 表]	○新成人 (西宮市) ○県立舞子高校生徒
	[外国政府代表]	○在関西総領事
	[公共団体等]	○県内市町長
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (追悼のつどい)		・開式あいさつ [副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表あいさつ [会長：知事] ・ご来賓あいさつ [防災担当大臣 (代読)] ・県民のこことば [新成人] ・献唱曲 [なぎさ小学校] ・誓いのこことば [県立舞子高等学校生徒] ・1.17 ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・献花
出 演 者 等		・開式あいさつ [副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表あいさつ [会長：知事] ・ご来賓あいさつ [冬柴国土交通大臣、 防災担当大臣 (代読)] ・県民のこことば [新成人] ・献唱曲 [なぎさ小学校] ・1.17 ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・献花
追悼のつどい以外の 主 な 行 事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西 2 ルート 5 コース、帰宅訓練コース (2) 防災訓練 ・場所：なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともや、天才チンパンジーばん君 とジェームス ほか
記 帳・ 献 花 等		・献花はつどい会場のみ

		13 周年	14 周年
名 称		ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2008	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2009
開 催 日		平成 20 年 1 月 17 日 (木)	平成 21 年 1 月 17 日 (土)
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
参 加 者 数		追悼のつどい 1,500 名 メモリアルウォーク 3,400 名 合計 4,900 名	追悼のつどい 1,800 名 メモリアルウォーク 4,200 名 合計 6,000 名
主な来賓	[皇 室]	—	—
	[来賓代表等]	○国土交通大臣、防災担当大臣(代理 内閣府参事官) 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	—	—
	[県 民 代 表]	○新成人 (淡路市)	○新成人 (明石市)
	[外国政府代表]	○在関西総領事	○在関西総領事
	[公共団体等]	○県内市町長	○県内市町長
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (追悼のつどい)		・献奏曲(県立西宮高等学校) ・開式あいさつ[副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表あいさつ[会長：知事] ・ご来賓あいさつ[冬柴国土交通大臣、 防災担当大臣(代読)] ・県民のことば[新成人] ・献唱曲[なぎさ小学校] ・1.17ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献花	・献奏曲 (県立西宮高等学校) ・開式あいさつ [副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表あいさつ [会長：知事] ・ご来賓あいさつ [佐藤防災担当大臣] ・県民のことば [新成人] ・献唱曲 [なぎさ小学校] ・1.17ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献花
出 演 者 等		○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：マスカー作曲 歌劇「カヴェレリア ルスティカーナ」より間奏曲 ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
追悼のつどい以外の 主 な 行 事		(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西 2 ルート 5 コース、帰宅訓練コース ・ルート上の防災訓練 (都賀川公園) (2) 防災訓練 ・場所：なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともや ほか	(1) 山手ふれあいロードウォーク ・東西 2 ルート 5 コース、帰宅訓練コース ・ルート上の防災訓練 (都賀川公園) (2) 防災訓練 ・場所：なぎさ公園北側道路ほか (3) 交流ステージ 高石ともや ほか
記 帳・ 献 花 等		・献花はつどい会場のみ	・献花はつどい会場のみ

		15 周年	
		ひょうご安全の日のつどい	
名 称		1.17 のつどい ー阪神・淡路大震災 15 周年追悼式典ー (兵庫県公館会場／H A T 神戸会場)	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2010
開 催 日		平成 22 年 1 月 17 日 (日)	
場 所		兵庫県公館／人と防災未来センター	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	
参 加 者 数		公館会場 (招待者のみ) 400 名 HAT 神戸会場 6,200 名 (うち招待者 120 名)	メモリアルウォーク 6,000 名
		合計 12,600 名	
主な来賓	[皇 室]	○皇太子同妃両殿下	—
	[来賓代表等]	○内閣総理大臣、防災担当大臣、衆参両議院議長、 最高裁判所長官、県選出国會議員、省庁関係者等	
	[ご遺族代表]	○松浦 潔 (11 名)	
	[県 民 代 表]	○新成人 (神戸市)	
	[外国政府代表]	○在関西総領事	
	[公共団体等]	○(県公館)被災市町長・議長、県関係団体代表等 ○(HAT 神戸)被災地以外市町長・議長、近畿国関係機 関、震災関連有識者、HAT 神戸国際関係機構等	
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表	
式 次 第 (1.17 の つ ど い)		・献奏曲[指揮 佐渡裕] ・追悼の灯り[新成人代表] ・開式の辞[副会長：県議会議長] ・国歌斉唱 ・黙祷 ・式辞[会長：知事] ・おことば[皇太子殿下] ・ご来賓のことば[鳩山内閣総理大臣] ・ご遺族代表のことば[遺族代表] ・献唱曲①[指揮 佐渡裕] ・県民のことば[新成人代表] ・1.17ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献唱曲②[指揮 佐渡裕] (HAT神戸会場では公館会場の映像を同時中継)	—
出 演 者 等		○献奏曲 指揮：佐渡裕 演奏：芸術文化センター管弦楽団 曲目：G 線上のアリア ○献唱曲① 指揮：佐渡裕 合唱：住吉小学校 曲目：しあわせ運べるように (HAT 神戸会場では公館会場の中継映像と同時に合唱 合唱：神戸市立なぎさ小学校、マリスタ国際学校) ○献唱曲② 指揮：佐渡裕 合唱：神戸市混声合唱団 曲目：アヴェ・ヴェルム・コルプス	—
1.17 のつどい以外の 主 な 行 事		追悼の灯り ○採火セレモニー (兵庫県公館、人と防災 未来センター) ○出発式 (人と防災未来センター)	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2010 ・東西 2 ルート 6 コース ・[未来へつなぐ] コーナー (各休憩所) (2) 交流ひろば 展示・体験ブース、炊き出しほか (3) 交流ステージ 紙ふうせん ほか (4) 防災訓練 ・防災関係機関による訓練、県民参加型訓練
記 帳・ 献 花 等		・記帳所開設 ・献花	—

		16 周年	17 周年
名 称		ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2011	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2012
開 催 日		平成 23 年 1 月 17 日 (月)	平成 24 年 1 月 17 日 (火)
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
参 加 者 数		1.17 のつどい 2,000 名 メモリアルウォーク 3,200 名 合計 5,200 名	1.17 のつどい 2,000 名 メモリアルウォーク 3,200 名 合計 5,200 名
主な来賓	[皇 室]	—	—
	[来 賓 代 表 等]	○防災担当大臣 県選出国會議員、省庁関係者等	○防災担当大臣、総務副大臣 県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご 遺 族 代 表]	—	—
	[県 民 代 表]	○新成人 (芦屋市)	○新成人 (伊丹市)
	[外国政府代表]	○在関西総領事	○在関西総領事
	[公共団体等]	○県内市町長	○県内市町長
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (1.17のつどい)		・ 献奏曲 (県立西宮高等学校) ・ 開会のことば [副会長：県議会議長] ・ 黙祷、カリヨンの鐘 ・ 主催者代表挨拶 [会長：知事] ・ ご来賓挨拶 [司会代読] ・ 県民のことば [新成人] ・ 献唱曲 [なぎさ小学校] ・ 1.17ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・ 献花	・ 献奏曲 (県立西宮高等学校) ・ 開会のことば [副会長：県議会議長] ・ 黙祷、カリヨンの鐘 ・ 主催者代表挨拶 [会長：知事] ・ ご来賓挨拶 [平野防災担当大臣] ・ 県民のことば [新成人] ・ 献唱曲 [なぎさ小学校] ・ 1.17ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・ 献花
出 演 者 等		○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
1.17 のつどい以外の 主 な 行 事		(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2011 ・ 東西 2 ルート 6 コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・ 室内安全横丁等展示・体験ブース、炊き 出し ほか (3) 交流ステージ 高石ともや、奥野勝利 ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2012 ・ 東西 2 ルート 6 コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・ 東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 山本シュウ、川嶋あい ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
記 帳・ 献 花 等		・ 献花はつどい会場のみ	・ 献花はつどい会場のみ

		18 周年	19 周年
		ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2013	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2014
		平成 25 年 1 月 17 日 (木)	平成 26 年 1 月 17 日 (金)
		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
		1.17 のつどい 2,000 名 メモリアルウォーク 3,200 名 合計 5,200 名	1.17 のつどい 2,000 名 メモリアルウォーク 3,100 名 合計 5,100 名
		—	—
		○防災担当副大臣、消防庁審議官、県選出国 會議員、省庁関係者等	○内閣府審議官、消防庁防災課長、県選出 國會議員、省庁関係者等
		—	—
		○新成人 (淡路市)	○新成人 (明石市)
		○在関西総領事	○在関西総領事
		○県内市町長	○県内市町長
		○県民会議構成団体代表	○県民会議構成団体代表
		・ 献奏曲 (県立西宮高等学校) ・ 開会のことば [副会長：県議会議長] ・ 黙祷、カリヨンの鐘 ・ 主催者代表挨拶 [会長：知事] ・ ご来賓挨拶 [西村防災担当副大臣] ・ 県民のことば [新成人] ・ 献唱曲 [なぎさ小学校] ・ 1.17ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・ 献花	・ 献奏曲 (県立西宮高等学校) ・ 開会のことば [副会長：県議会議長] ・ 黙祷、カリヨンの鐘 ・ 主催者代表挨拶 [会長：知事] ・ ご来賓挨拶 [内閣府審議官] ・ 県民のことば [新成人] ・ 献唱曲 [なぎさ小学校] ・ 1.17ひょうご安全の日宣言 [河田企画委員長] ・ 献花
		○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
		(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2013 ・ 東西 2 ルート 6 コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・ 東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 田口壮、川嶋あい ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2014 ・ 東西 2 ルート 6 コース、帰宅訓練コース (2) 交流ひろば ・ 東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 川嶋あい ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
		・ 献花はつどい会場のみ	・ 献花はつどい会場のみ

20 年		
ひょうご安全の日のつどい		
名 称	1.17 のつどい －阪神・淡路大震災 20 年追悼式典－ (兵庫県公館会場／H A T 神戸会場)	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2015
開 催 日	平成 27 年 1 月 17 日 (土)	
場 所	兵庫県公館／人と防災未来センター	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者	ひょうご安全の日推進県民会議	
参 加 者 数	公館会場 (招待者のみ) 500 名 HAT 神戸会場 6,100 名 (うち招待者 200 名)	メモリアルウォーク 5,900 名
	合計 12,500 名	
主な来賓	[皇 室]	○天皇皇后両陛下
	[来賓代表等]	○防災担当大臣、衆参両議院議長、最高裁判 所長官、県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	○小河 昌江(10名)
	[県 民 代 表]	○震災子どもメッセージ ひょうご安全の日 推進県民会議会長賞受賞者(小・中・高校生)
	[外国政府代表]	○国連事務総長特別代表、在関西総領事等
	[公共団体等]	○(県公館)被災市町長・議長、県関係団体代表等 ○(HAT 神戸)被災地以外市町長・議長、近畿国関係機 関、震災関連有識者、HAT 神戸国際関係機構等
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (1.17 の つ ど い)	・追悼の灯り[新成人代表] ・献奏曲[指揮 佐渡裕芸術監督] ・開式の辞[副会長：県議会議長] ・国歌斉唱 ・黙祷 ・式辞[会長：知事] ・ご来賓のことば[山谷防災担当大臣] ・ご遺族代表のことば[遺族代表] ・献唱曲①[指揮 佐渡裕] ・県民のことば[子ども達からのメッセージ] ・1.17 ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献唱曲②[指揮 佐渡裕芸術監督] (HAT 神戸会場では公館会場の映像を同時中継)	—
出 演 者 等	○献奏曲 指揮：佐渡裕芸術監督 演奏：芸術文化センター管弦楽団 曲目：G 線上のアリア ○献唱曲① 指揮：佐渡裕芸術監督 合唱：神戸市立桂木小学校 曲目：しあわせ運べるように (HAT 神戸会場では公館会場の中継映像と同時に合唱 合唱：神戸市立なぎさ小学校、宮城県七ヶ浜町 3 小学校) ○献唱曲② 指揮：佐渡裕芸術監督 合唱：神戸市混声合唱団 曲目：アヴェ・ヴェルム・コルプス	—
1.17 のつどい以外の 主 な 行 事	追悼の灯り ○採火セレモニー (人と防災未来センター)	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2015 ・東西 2 ルート 6 コース、子ども(親子) ウォーク、帰宅訓練ウォーク (2) 交流ひろば・交流ステージ ・防災啓発展示、炊き出し、パフォーマンス等 (3) 子ども防災ひろば ・防災体験・ゲーム、防災授業、防災人形劇等 (4) 防災訓練 ・防災関係機関による訓練、県民参加型訓練
記 帳・ 献 花 等	・記帳所開設、献花	—

21 年		22 年
名 称	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2016	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2017
開 催 日	平成 28 年 1 月 17 日 (日)	平成 29 年 1 月 17 日 (火)
場 所	山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者	ひょうご安全の日推進県民会議	
参 加 者 数	1.17 のつどい 2,000 名 メモリアルウォーク 4,500 名 合計 6,500 名	1.17 のつどい 1,500 名 メモリアルウォーク 2,800 名 合計 4,300 名
主な来賓	[皇 室]	—
	[来賓代表等]	○内閣府審議官、消防庁防災課長、復興副大 臣、県選出国會議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	—
	[県 民 代 表]	○なぎさ小学校児童、渚中学校・ 舞子高校生徒
	[外国政府代表]	○在関西総領事
	[公共団体等]	○県内市町長
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (1.17 の つ ど い)	・献奏曲(県立西宮高等学校) ・開会のことば[副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶[会長：知事] ・ご来賓挨拶[長島復興副大臣] ・子ども達からのメッセージ ・献唱曲[なぎさ小学校] ・1.17 ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献花	・献奏曲(県立西宮高等学校) ・開会のことば[副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶[会長：知事] ・ご来賓挨拶[末松国土交通副大臣] ・子ども達からのメッセージ ・献唱曲[なぎさ小学校] ・1.17 ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献花
出 演 者 等	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
1.17 のつどい以外の 主 な 行 事	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2016 ・東西 2 ルート 6 コース、子ども(親子) ウォーク、帰宅訓練ウォーク (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 大学生アカペラグループ ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2017 ・東西 2 ルート 6 コース、帰宅訓練 ウォーク (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・体験 ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ 広瀬未来カルテット ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
記 帳・ 献 花 等	・献花はつどい会場のみ	・献花はつどい会場のみ

		23 年	24 年
名 称		ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2018	ひょうご安全の日のつどい 1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2019
開 催 日		平成 30 年 1 月 17 日 (水)	平成 31 年 1 月 17 日 (木)
場 所		山手幹線・神戸東部新都心	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議
参 加 者 数		1.17 のつどい 1,200 名 メモリアルウォーク 2,000 名 合計 3,200 名	1.17 のつどい 2,100 名 メモリアルウォーク 3,000 名 合計 5,100 名
主な来賓	[皇 室]	—	—
	[来賓代表等]	○内閣府大臣政務官、消防庁長官、県選出国 会議員、省庁関係者等	○内閣府大臣政務官、消防庁長官、県選出 国会議員、省庁関係者等
	[ご遺族代表]	—	—
	[県 民 代 表]	○なぎさ小学校児童、渚中学校・ 舞子高校生徒	○なぎさ小学校児童、渚中学校・ 舞子高校生徒
	[外国政府代表]	○在関西総領事	○在関西総領事
	[公共団体等]	○県内市町長	○県内市町長
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表	○県民会議構成団体代表
式 次 第 (1.17のつどい)		・献奏曲(県立西宮高等学校) ・開会のことば[副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶[会長：知事] ・ご来賓挨拶[山下内閣府大臣政務官] ・子ども達からのメッセージ ・献唱曲[なぎさ小学校] ・1.17ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献奏曲(県立西宮高等学校) ・献花	・献奏曲(県立西宮高等学校) ・開会のことば[副会長：県議会議長] ・黙祷、カリヨンの鐘 ・主催者代表挨拶[会長：知事] ・ご来賓挨拶[舞立内閣府大臣政務官] ・子ども達からのメッセージ ・献唱曲[なぎさ小学校] ・1.17ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献奏曲(県立西宮高等学校) ・献花
出 演 者 等		○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス 曲目：ジュリオ・カッチーニ作曲、倉橋 日出夫編曲 アヴェ・マリア ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように	○献奏曲 県立西宮高等学校音楽科 曲目：ジョン・ラター作曲、倉橋日出夫 編曲 マニフィカートよりエスリ エンテス 曲目：ジュリオ・カッチーニ作曲、倉橋 日出夫編曲 アヴェ・マリア ○献唱曲 神戸市立なぎさ小学校 曲目：しあわせ運べるように
1.17 のつどい以外の 主 な 行 事		(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2018 ・東西 2 ルート 6 コース、帰宅訓練ウォーク (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・ 体験ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ Permanent Fish ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2019 ・東西 2 ルート 6 コース、企業等訓練ウォーク (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・ 体験ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ Bloom Works ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
記 帳・ 献 花 等		・献花はつどい会場のみ	・献花はつどい会場のみ

		25 年	
		ひょうご安全の日のつどい	
名 称		1.17 のつどい ー阪神・淡路大震災 25 年追悼式典ー (兵庫県公館会場／ HAT 神戸会場)	1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2020
開 催 日		令和 2 年 1 月 1 7 日 (金)	
場 所		兵庫県公館／人と防災未来センター	山手幹線・神戸東部新都心
主 催 者		ひょうご安全の日推進県民会議	
参 加 者 数		公館会場(招待者のみ) 400 名 HAT 神戸会場 4,000 名(うち招待者 240 名)	メモリアルウォーク 3,900 名
		合計 8,300 名	
主な来賓	[皇 室]	○秋篠宮皇嗣同妃両殿下	—
	[来賓代表等]	○防災担当大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院副議 長、最高裁判所長官、県選出国会議員、省庁関係者等	
	[ご遺族代表]	○松本 幸子(9 名)	
	[県 民 代 表]	○南あわじ市立福良小学校児童、芦屋市立精道 中学校・県立舞子高校生徒	
	[外国政府代表]	○在関西総領事	
	[公共団体等]	○(県公館)被災市町長・議長、国際防災関係機関、県関係団体代表等 ○(HAT 神戸)被災地以外市町長・議長、近畿国関 係機関、震災関連有識者、HAT 神戸関係機構等	
	[県 民 会 議]	○県民会議構成団体代表	
式 次 第 (1.17のつどい)		・追悼の灯り[平成 7 年生まれの若者] ・献奏曲[指揮 佐渡裕芸術監督] ・開式の辞[副会長：県議会議長] ・国歌斉唱 ・黙祷 ・式辞[会長：知事] ・ご来賓のことば[武田防災担当大臣、赤羽国土交通大臣] ・ご遺族代表のことば[遺族代表] ・献唱曲①[指揮 佐渡裕] ・県民のことば[子ども達からのメッセージ] ・1.17 ひょうご安全の日宣言[河田企画委員長] ・献唱曲②[指揮 佐渡裕芸術監督] (HAT 神戸会場では公館会場の映像を同時中継)	—
出 演 者 等		○献奏曲 指揮：佐渡裕芸術監督 演奏：芸術文化センター管弦楽団 曲目：G 線上のアリア ○献唱曲① 指揮：佐渡裕芸術監督 合唱：神戸市立桂木小学校 曲目：しあわせ運べるように (HAT 神戸会場では公館会場の中継映像と同時に合唱 合唱：神戸市立なぎさ小学校) ○献唱曲② 指揮：佐渡裕芸術監督 合唱：神戸市混声合唱団 曲目：アヴェ・ヴェルム・コルプス	—
1.17 のつどい以外の 主 な 行 事		追悼の灯り ○採火セレモニー (人と防災未来センター)	(1)1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2020 ・東西 2 ルート 6 コース、子ども・若者ウォーク、企業等訓練ウォーク (2) 交流ひろば ・東日本大震災被災地支援等展示・体験ブース、炊き出し ほか (3) 交流ステージ ユニバーサル・スタジオ・ジャパン ほか (4) 防災訓練 災害時要援護者誘導訓練 ほか
記 帳・ 献 花 等		・記帳所開設、献花	—